

社会福祉法人鷲山会では以下の情報開示を行っております。

- ・ 財産目録
- ・ 事業報告書
- ・ 介護職員等特定処遇改善加算の取得状況
- ・ 賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

以下の情報は電子開示システムへ掲載しています。

- ・ 現況報告書
- ・ 計算書類
- ・ 定款
- ・ 役員報酬等規程
- ・ 役員名簿

[※電子開示システムはこちら](#)

財産目録  
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
現金	本部/中国銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
普通預金	本部/トマト銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	倉敷シルバーセンター/広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	倉敷シルバーセンター/広島銀行(利用料)児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	倉敷シルバーセンター/トマト銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	倉敷シルバーセンター/トマト銀行(利用料)児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	シルバーテイクアウトセンター/トマト銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	シルバー在宅介護支援センター/広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	シルバーケアハウス/広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	岡山シルバーセンター/中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	岡山シルバーセンター/中国銀行(利用料)稲荷支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	岡山シルバー在宅介護支援センター/中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	岡山シルバーテイクアウトセンター/中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	ケアハウスゆうステイ岡山/中国銀行稲荷支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	倉敷市児島中部高齢者支援センター/広島銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	倉敷シルバーナーシングホーム/トマト銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	通所リハビリテーション/トマト銀行児島支店	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
	小計					□□□□□□□□
定期預金	倉敷シルバーセンター/トマト銀行児島支	—	運転資金として	—	—	□□□□□□□□
事業未収金		—	2、3月分介護報酬等	—	—	□□□□□□□□
未収金		—	自販機売上、能登半島派遣費用	—	—	□□□□□□□□
未収補助金		—	軽費老人ホーム補助金等	—	—	□□□□□□□□
立替金		—	休職職員給与控除分等	—	—	□□□□□□□□
前払費用		—	火災保険料等	—	—	□□□□□□□□
仮払金		—	食品販売費用等	—	—	□□□□□□□□
	流動資産合計					□□□□□□□□
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	職員用駐車場に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(法人本部)倉敷市児島柳田町386番2他	—	法人本部(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	法人本部(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	—	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	—	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	—	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している	—	—	□□□□□□□□
	小計					□□□□□□□□
建物	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1994年度	法人本部(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(法人本部)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2023年度	法人本部(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1987年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1989年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1991年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1992年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	1998年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2003年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2004年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2010年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2012年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2013年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2014年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2015年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2016年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□
	(倉敷シルバーセンター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム倉敷シルバーセンター(等)に使用している	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□



	(シルバーケアハウス)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスシルバーケアハウス(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2001年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2002年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2008年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2016年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2017年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2018年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2019年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2020年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(岡山シルバーセンター)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、特別養護老人ホーム岡山シルバーセンター(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2005年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2008年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2018年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2019年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2020年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2021年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(ケアハウスゆうステイ岡山)岡山県岡山市北区新庄上545-1	2022年度	第一種社会福祉事業である、ケアハウスゆうステイ岡山(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2005年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2011年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2013年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2017年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2018年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2019年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷シルバーナーシングホーム)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	第二種社会福祉事業である、老人保健施設倉敷シルバーナーシングホーム(等)に使用している				
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2016年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター(等)に使用している				
	(倉敷市児島中部高齢者支援センター)岡山県倉敷市児島柳田町355-1	2022年度	公益事業である、地域包括支援センター倉敷市児島中部高齢者支援センター(等)に使用している				
			小計				
構築物	反射鏡 他28件	—	安全対策等				
機械及び装置	分機印字装置・設置台 他1件	—	利用者の薬分包等				
車輛運搬具	スズキワゴンR/岡山53え5336	—	利用者送迎用等				
器具及び備品	他30件	—	利用者のリハビリ等				
有形リース資産	平行棒 GH-260 他645件	—	請求業務、介護記録等				
権利	ほのぼのシリーズ サーバー、ルーター 他10件	—	電話等				
ソフトウェア	電話債権 他25件	—	職員給与計算等				
無形リース資産	ほのぼのNEXT使用权パック 他40	—	介護請求、介護記録等				
退職給付引当資産	ほのぼのシリーズソフトウェア 他23件	—					
人件費積立資産	定期預金	—	ケアハウスゆうステイ岡山の将来における人件費のために積み立てられている				
備品等購入積立資産	定期預金	—	シルバーケアハウスの将来における備品購入費のために積み立てられている				
長期前払費用	日経ヘルスケア年間購読料	—	情報収集				
			その他の固定資産合計				
			固定資産合計				
			資産合計				
<b>II 負債の部</b>							
<b>1 流動負債</b>							
事業未払金		—					
1年以内返済予定リース債務	ほのぼのシリーズソフトウェア	—					
預り金	源泉所得税等	—					
職員預り金	職員源泉所得税等	—					
仮受金	家族会費	—					
賞与引当金		—					
未払消費税等		—					
			流動負債合計				
<b>2 固定負債</b>							
退職給付引当金		—					
			固定負債合計				
			負債合計				
			差引純資産				

# 令和5年度

## 事業報告書

社会福祉法人 鷺山会

- 介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 倉敷シルバーセンター
- 通所介護 シルバーデイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所 シルバー在宅介護支援センター
- 地域包括支援センター 倉敷市児島中部高齢者支援センター
- ケアハウス シルバーケアハウス

## 特別養護老人ホーム 倉敷シルバーセンター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

### 「事務課」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者に、明るく優しく 思いやりを持って対応します
- b. ご利用者の顔と名前を覚えて笑顔で接する

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 来所者に顔をあげて笑顔で対応する
- b. 連携を取りながら素早く対応する

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 所内研修等に参加し、レベルアップに努める
- b. 情報の共有を徹底する（報告・連絡・相談）

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 節電・節水・節紙に努め、物品を大事に使用する
- b. 格の比較をしてコストダウンに努める

### <評価>

- 新規入所者など、顔を覚えてないご利用者がいるので引き続き覚えるように努める。積極的に対応にあたりたい。
- デスクワーク中に来客に気づくのが遅れ対応が遅くなることがあった。姿勢をよくし、前を見るように心掛ける。
- 所内研修には参加出来ない時は動画視聴を意識して行っている。研修を学んだことを活かせるように意識して行動する。
- 意識して節約できているので、今後も継続する。

### 「相談課」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. 面会時には積極的に情報提供を行い、連絡方法を工夫しながら、定期的(3ヶ月に1度)に連絡し、満足して頂ける対応に努める
- b. ご利用者や現場スタッフとのコミュニケーションやカンファレンスを通じて、ニーズ把握に努め、情報共有シートやミーティングなどで部署内で情報共有を行う

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 各種地域行事へ参加するなど、積極的に自ら地域へ出て行き、地域との関係を深める活動を行う
- b. 他施設や医療機関との交流を深め、緊急性の高いケース等の受け入れ等助け合える関係作りに努める

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. OJT、OFF-JTを活用した人材育成とサポート
- b. 必須研修を中心に、職員のニーズやスキルアップを反映させた内容にし、映像等を残しより多くの職員が参加出来るよう工夫する。効果についても報告書などを確認し、業務に生かせるよう支援する
- c. 職員の意見、意欲を考慮した外部研修への参加支援を行い、内容を施設全体で共有出来るよう工夫する

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 入所手順を見直し、本入所退所後平均7日での受け入れの実現を目指す
- b. 入所97.0/日、ショートステイ10.0/日以上の実績
- c. 困難事例、単発での積極的な受け入れ
- d. 節電、節水等に努め、備品を大切かつ適正に扱い、消耗品などの見直しによりコスト削減に努める

### <評価>

- ご家族への定期連絡は概ね実施出来たが、相談員間の情報共有が不十分な面があった。コミュニケーションの充実を図りたい。
- 地域との関わりについては、自発的な発信は出来なかったが、依頼のあったものについては対応出来た。緊急的な受け入れについても、受け身だけでなく自発的に対応したい。
- 所内研修の法定研修が計画的に実施出来ず、参加率も悪かった。フォローとして動画視聴も実施しているが、参加率に差が出ている。参加率の向上や効果の検証をしながら対応していきたい。
- 実績について目標を達成できず、新規の受け入れに時間がかかった。具体的な見直しが必要。備品や消耗品については委員会とも協力しながら実施出来ているので継続したい。

## 「栄養課」

### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- 残食調査、嗜好調査を行う
- 行事等を立案から参加し、計画的に行う
- 積極的にデイルームへ行き食事観察を行う

### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 包括支援センターから栄養改善教室などの要請があれば対応する
- 地域ケア個別会議に参加し、近隣住民の健康維持を支援する。

### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 外部の研修へ積極的に参加し、身につけた知識を多職種にも共有する
- 多職種と多く関わり、介護に必要な知識を身につける
- 定期的に情報共有の場を設ける

### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 使い捨て食器は適切な量を使用し無駄を減らす
- 機器の劣化がある為必要時は買い替えを行い、メンテナンスによる余分な費用を削減する
- 関連する加算内容を十分に理解し多職種で連携しながら確実に実施する

### <評価>

- 残食、嗜好調査は十分に把握出来なかったが、ご利用者一人ひとりを細かく観察し、ニーズの把握に努めることはできた。行事食に関しては、前年度よりも季節感を意識したものを作り、提供することができた。
- 栄養教室では前年度よりも伝わりやすい内容を考え、実施することができた。他職種から地域ごとの特徴を聞き、住民の状況を知ることができた。来年度以降は、地域のニーズに沿った栄養教室の実施を目指す。
- 他職種に身に付けた知識を共有することは出来なかったが、関わることはできた。他職種が行っている業務で分からないことがあった際は、他職種へ聞いたり調べたりして理解を深めた。栄養士間の情報共有は十分でなかったため、来年度は意識的にやりたい。
- 感染症が何度も流行し、その度に使い捨て食器の使用量が多くなってしまった。来年度は必要性を検討する。劣化している厨房機器が多く、急な出費が出た。できるだけ早めの買い替えを検討する。加算については常に最新の情報を確認し、確実な実施に努める。

## 「看護課」

### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者の思いに傾聴しながら最善の対応を図る
- ご利用者が求める尊厳のある看護の提供を行う
- 個人の状態に合わせ、プライバシーに配慮した看護ケアを行う

### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域の専門職と情報の共有を行いスムーズな対応を図る
- 感染症流行の状況を把握し、予防方法を周知徹底し、感染防止に努める

### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 嘱託医・協力病院と情報交換を行う
- 所内研修へ積極的参加する
- 外部研修や自己学習で学んだ知識を医務内で情報共有し、業務に活かす

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

- a. 医療保険を活用し、施設の負担を可能な限り軽減する
- b. 衛生材料の購入は必要最低限とし、無駄使いしない
- c. 新たな衛生材料を導入する際は物品単価の情報交換等を行い、しっかり検討してから導入する
- d. 節電・節水・温度管理を意識する

**<評価>**

- 名前の呼び方など接遇に注意したい。プライバシーに配慮したケアの提供を意識して行いたい。
- 感染症時の対応を確認しながら情報共有できていた。嘱託医と良好な関係を保ちながら連携出来ている。多職種との連携を図るため、報連相を意識する。  
最新の医療情報を得るため、積極的に外部研修に参加したい。所内研修に参加出来ない場合は動画視聴を活用する。
- 委員会を通して経費削減を意識することが出来た。必要に応じて個人負担に切り替えも出来た。引き続きコスト削減を図っていく。

**「介護課・ほのぼのユニット」**

**<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。**

- a. 各担当を中心に個別ケアについて考え、日々のケアに取り入れ実施してきます
- b. 一人ひとりの状態が分かるよう細かく記録し、報告忘れがないように声を掛け合います
- c. 心にゆとりを持ち、言葉遣いや接遇に配慮したケアを行います

**<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。**

- a. 面会・支払い等で来所された際、ご利用者の近況を詳しくお伝えし、ご家族とコミュニケーションを図ります

**<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。**

- a. 職員の育成に積極的に関わり、自身のスキルアップに繋げていきます

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

- a. 毎回のミーティングで物品の使用状況や修理の有無について、管理方法を統一して実施していく
- b. 使えるものは最後まで工夫しながら使用します

**<評価>**

- 職員間での情報共有は比較的行えていた。忙しい時間などに心に余裕がなくなるという意見があったため、改善していきたい。
- 直接ご家族と関わる機会が少なかった。今後はご家族と良い関係が築けるよう努めていきたい。
- 個人によって評価にムラがあったため、全体で積極的に職員の育成に関わりたい。
- 色々な視点から物事を見直し、個人としても全体としてもコスト意識を高めたい。

**「介護課・陽だまりユニット」**

**<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。**

- a. 挨拶や介助前後の丁寧な声かけを行い、安心してして過ごしていただけるよう努めます
- b. ご利用者の思いや状態に合わせた個別ケアを行います

**<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。**

- a. 陽だまり通信や来所時に様子をお伝えすることで、ご家族の方と関わります
- b. 細やかな情報をユニット内で統一し、他職種との情報共有を行い、連携していきます

**<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。**

- a. 研修や委員会には積極的に参加します
- b. 学んだことを日々の業務に反映し、スキル向上につなげます

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

- a. 使用していない所の電気やテレビはこまめに消します
- b. 備品の管理や清掃を行い、長く使用できるように努めます

**<評価>**

- 慣れとともに声かけが減ったり丁寧さに欠ける場合があり、個人によって評価に差があ

- 感染症の流行もあり外部やご家族と接する機会は少なかつたため、陽だまり通信は継続したい。ユニット内や多職種との連携は円滑に出来ていた。
- 動画視聴などを活用できているが、学んだことが業務に活かされているかは不明。
- 節電を意識出来ているかは個人によって差がある。備品の管理は統一出来るよう工夫したい。

### 「介護課・和ユニット」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者の生きがいにつながるよう、余暇活動や個別ケアへの取り組みを行う
- b. 優しい声かけや返事を心掛ける

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. ご家族にご利用者の近況を伝えられるようユニットからの情報を発信する
- b. 職員間で情報を共有し、面会時に統一した状態報告を行う

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 職員間でご利用者の情報共有を図り、心身の状態やそれぞれのご利用者が持つリスクを把握し、事故を未然に防止する
- b. ご利用者が安心・安全な状態でケアが出来るよう個々に合った介助を行います

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. ご利用者の身だしなみを整え清潔を保ち、居室内の環境整備を行う
- b. 居室の照明やエアコンをこまめに消す

#### <評価>

- 個別ケアはご利用者によって差ができてしまった。余暇時間は散歩や身辺ケアを行えた。
- 感染症により直接ご家族と接する機会はなかつたが、相談員を通して状況を伝えることができていたと思う。
- 介護事故が多く発生し、職員間の情報共有がうまくできていなかった。各個人のケアを見直し、ご利用者に負担の少ないケアを行いたい。
- 誰もいない居室のエアコンや電気がついていていたことがあるため意識を高めたい。

### 「介護課・やすらぎユニット」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者の精神・身体状態に合わせてながら落ち着いて過ごせる環境を作ります(新規)

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 面会時などご家族にきちんと目を見て挨拶をする
- b. 面会時には日頃の様子を報告し、積極的にコミュニケーションを取ります

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. (安身サービス委員会)ひやりはっと、インシデント用紙を活用し、未然に事故が防止出来るように職員間で情報共有します
- b. (感染症対策委員会)感染症マニュアルを活用し、職員の意識を高めます  
一人ひとりに適したマットやクッションを使用し、褥瘡予防に努めます
- c. (行事・レク委員会)季節に応じた行事を組み入れることで、メリハリのある生活を送っていただきます

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 居室の電気、ヘッドライト、豆電球、エアコンはご利用者不在時はこまめに消す
- b. 備品を適切に使用し、定期的な点検と清掃を行います

#### <評価>

- 業務に追われる日もあつたが、関わりを大切にし、状態に合わせた対応を意識的に行っていた。
- ご家族と接する機会が少なく、関係性が薄い。積極的に関わり信頼関係の構築に努めたい。
- 〈安身〉全体的にひやりはっとへの意識が低く、事故が起きてから対応することが多かつた。個々の意識を高め、情報共有に努めたい。  
〈感染〉感染症発生時はマニュアル通りに対応出来たが、日々の業務では環境消毒などが不十分

で、予防の観点からは意識が低かった。

〈レク〉ユニット内での行事やレクリエーションが実施できなかった。余暇時間を有効に活用し、日々の楽しみを提供していきたい。

- 居室の電気・エアコンはこまめに調節出来た。備品の点検や清掃は定期的に行えなかったため、曜日や担当者を決めるなどの工夫をしたい。

## 「感染症対策委員会」

### ＜鷺山会感染症、食中毒の予防・蔓延防止に関する基本理念＞

#### 1. 基本理念

- a. 社会福祉施設には、感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が生活する場であり、こうした高齢者が多数生活する環境は感染が広がりやすい状況である事を認識しなければならない。このような前提に立って施設では、感染症・食中毒を予防する体制を整備し、平素から対策を実施するとともに、感染予防、感染症発生時には多職種協働にて迅速かつ適切な対応に努める必要がある。

#### 2. 感染症対策施設方針

- a. 倉敷シルバーセンターは、感染症・食中毒の発生、蔓延防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「感染症対策委員会」を設置、施設全体でこの事に取り組む事とする。

#### 3. 委員会具体的方策

- a. 平常時には感染症対策委員会を1回/月開催し、委員会メンバーにて情報の共有を実施、委員会メンバーより担当部署職員へ情報の伝達と日々の対策を徹底する。
- b. 感染症対策標準予防策「スタンダード・プリコーション」を徹底すべく、2回/年、所内研修を実施する事で直接接遇職員の感染予防技術の底上げに努める。また、新人職員採用時は新人研修時に指導を行う。
- c. 嘱託医の指示に従い、感染警報発令時は職員出勤時の体調確認表を活用しウイルスを施設内に持ち込まないよう徹底する。
- d. 全職員を対象とした感染予防の勉強会を2回/年実施する。

### ＜評価＞

- 今年5月よりコロナウイルス感染症は5類へ移行され、基本的に感染対策は各個人の判断になり、世の中はコロナ禍前の日常を取り戻している。今年度も施設では感染者が発生したが、前年度の経験を活かし終息に至った。終息後には多職種で意見交換を行い、多角的に反省点や改善点を共有し、感染症マニュアルの見直しを行うことが出来た。  
感染症は季節問わず一年中発生する。高齢者施設では感染や重症化のリスクが高まるが、知識や技術を含めた感染対策の徹底をしながら、面会によるご家族とのふれあいや外出や行事による気分転換を図りながら日々の楽しみを増やすことも取り組んでいる。  
毎月の委員会では感染症の動向や最新の情報を把握し、嘱託医や各職種と情報共有を行いながら発生時には迅速な対応につなげていきたい。今後は感染症との共生を意識した発信をしていきたい。

## 「安全対策委員会」

### ＜鷺山会介護事故防止のための基本理念＞

#### 1. 基本理念

- a. 介護事故はちょっとした不注意で発生する。私達は介護・看護のプロとして介護事故を最小限に抑え、一度発生した介護事故は二度と起こさないようにしなければならない。  
「ひやり・はっと報告書」「介護事故報告書」を分析する事で対処、研究を常に図り、ご利用者、ご家族に安心して施設をご利用いただけるよう細心の注意を払い、介護事故の減少に最大限の努力と対処を行う。

#### 2. 安全対策施設方針

- a. 介護事故を防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「安全対策委員会」を設置、

運営することで施設全体でこのことに取り組む事とする。

- b. リスクマネージャーを配置し館内の安全点検、ひやり・はっと、介護事故の発生傾向調査、発生防止のためのルールを遵守できているか否かの確認を行う事で、リスクマネジメントの取り組みを行う。

### 3. 委員会具体的方策

- a. 全職員を対象とした「介護事故防止」に関する研修会を2回/年、実施する。
- b. 新人職員採用時は新人研修時に「介護事故防止」に関する指導を行う。
- c. 介護事故を防止するため毎月1回以上「安全対策委員会」を開催し、介護事故の未然防止についての対策を講じる。
- d. 「なぜ事故を起こしたか?」という考えではなく「なぜ事故が起こったか?」という発想で考える。

#### <評価>

- 介護事故の件数が多かった。ご自分で動かれる方の事故に加え、動くことができないご利用者の介助中に起きたと思われる事故もあった。介護技術の見直しや安全に対する意識付けを強化したい。
- ノーリフティングの取り組みは定着しつつあるが、完全にノーリフティングに移行できていないため、活発な取り組みが継続して必要。ただ、ノーリフティングにとられるあまりご利用者や職員の負担になっては本末転倒となるため、状況に合わせた介助方法を検討したい

#### ● 「身体拘束廃止委員会」

#### <鷺山会身体拘束廃止のための基本理念>

##### 1. 基本理念

- a. 身体拘束は、ご利用者の生活の自由を制限することであり、ご利用者の尊厳ある生活を阻むものである。当法人ではご利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人一人が身体的、精神的弊害を理解し、身体拘束廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努める。

##### 2. 身体拘束廃止施設方針

- a. 身体拘束の廃止に取り組むにあたっての理念を理解し「身体拘束廃止委員会」を設置・運営することで施設全体でこのことに取り組むこととする。
- b. 豊かで、安全、安心できる快適な生活を送れるために、ケア全体を見直し、緊急やむを得ない場合は適切な手続きのもと慎重に判断し身体拘束ゼロを目標とする。
- c. 施設広報誌に掲載し、情報開示に努める。

##### 3. 委員会具体的方策

- a. 身体拘束を廃止、防止するため毎月1回「身体拘束廃止委員会」を開催し、身体拘束ゼロを目指す。
- b. 緊急やむを得ない判断は「施設長」の最終判断でのみ決定し、ご利用者本人、ご家族に大して詳細に説明し文章にて同意を得る。また、緊急やむを得ず身体拘束を行う場合でも、常に観察、再検討し、要件に該当しなくなった場合は直ちに拘束を解除する。
- c. 施設広報誌へ年1回以上、身体拘束廃止委員会の取り組み

#### <評価>

- 令和5年度は感染症対策のために1件の身体拘束を実施した。実施時の条件や経過、手続等を委員会内で改めて確認した。令和6年度より高齢者虐待委員会の設置の義務化となるため委員会内での意見交換等を活発にしていきたい。

#### <利用実績>

##### 1) 介護老人福祉施設

	延入所者数	1日平均数	平均介護度	入院・外泊	退所者数	入所者数
--	-------	-------	-------	-------	------	------

4月	2,953	98.43	4.27	47	0	0
5月	3,022	97.48	7.25	39	2	1
6月	2,952	98.40	4.25	35	2	1
7月	3,100	100.00	4.24	0	0	2
8月	3,090	99.68	4.26	0	1	0
9月	2,937	97.90	4.25	16	2	1
10月	3,033	97.84	4.25	6	1	1
11月	2,949	98.30	4.23	5	2	2
12月	2,913	93.97	4.21	79	2	0
1月	2,873	92.68	4.20	97	5	5
2月	2,808	96.83	4.16	37	1	3
3月	3,049	98.35	4.16	41	1	2
<b>平均(合計)</b>	<b>2,973.3</b>	<b>97.49</b>	<b>4.23</b>	<b>33.5</b>	<b>(19)</b>	<b>(18)</b>

- 退所人数19名に対して受け入れ日数平均28.3日。2度のクラスター対応のため新規受け入れに日数がかかり結果目標を下回りました。今後は早期受け入れができるような仕組みづくりに努めます。

## 2) 短期入所生活介護

	延人数	1日平均数	平均介護度	送迎回数
4月	232	7.73	3.74	7
5月	302	9.74	3.54	8
6月	304	10.23	3.46	5
7月	294	9.48	3.52	5
8月	264	8.52	3.63	6
9月	255	8.50	3.58	4
10月	237	7.65	3.77	8
11月	262	8.73	3.67	9
12月	292	9.42	3.71	8
1月	301	9.71	3.84	5

2月	299	10.31	3.51	8
3月	296	9.55	3.71	6
<b>平均</b>	<b>258.17</b>	<b>9.13</b>	<b>3.64</b>	<b>6.58</b>

- 短期利用者1日平均利用人数9.13名。緊急ショートステイ等の突発的な利用希望には可能な限り対応できましたが、入所実績の影響もあり目標未達成となりました。

#### <年間行事・ボランティア受入実績>

	行事報告	ボランティア受入報告
4月	1.2.5日花見ドライブ 19日花見弁当	
5月	4日菖蒲湯 10日個別外出行事 16日羊毛刈り 23日食フェス(天丼) 24日個別外出行事 24日食フェス(オムライス・クレープ)	
6月	7日食フェス(キーマカレー) 14日食フェス(天ぷら・そつめん) 29日個別外出行事	
7月	26日納涼祭	夏のボランティア(児島中学校)
8月	6日花火 19日おやつ作り(かき氷) 23日おやつ作り(チョコバナナ) 23日物故者供養 30日スイカ割り	夏のボランティア(児島中学校、琴浦中学校)
9月	2日おやつ作り(フルーツパフェ) 14日テイクアウト(うめじゃろ) 17日敬老会 20日食フェス(ひつまぶし・鯛茶漬) 25日花火	
10月	7日御神輿・だんじり 9日花火 11日アイスフィンク 18日おやつ会(サーティワン) 25日秋祭り 25日芋煮	
11月	15日食フェス(握り寿司・海鮮丼) 29日焼き芋	チャレンジワーク
12月	4日食フェス(海鮮丼)	

	19.20.21.22日柚子湯 20日クリスマス会 27日餅つき	
1月	1日お屠蘇	倉敷工業高校羊毛製品寄贈
2月	7日節分祭 28日おやつ作り(たこ焼き・明石焼き)	
3月	2日ひな祭り 27日花見おやつ会	

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月		
5月	令和5年度接遇セミナー 介護魅力発信プロジェクト チームsmile結成式 福祉の就職総合フェア岡山	1名 1名 2名
6月	岡山県老協 次世代委員会（旧：21世紀委員会）総会・セミナー 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース	1名 2名
7月	介護魅力発信プロジェクト チームsmile KAIGOPRIDE 写真撮影 令和5年7月備中地区総会 令和5年度 福祉職員キャリアパス対応生涯過程 初任者コース 令和5年度介護支援専門員就業者向け更新研修 倉敷市特養連絡協議会令和5年7月定例会 令和5年度岡山医療福祉専門学校就職説明会 令和5年度中国地区老人福祉施設研修大会第1回実行委員会 老協/次世代委員会 第1回幹事会 翔南高校生活福祉系列講師派遣  所内研修：食中毒と感染症	1名 1名 2名 1名 1名 2名 1名 1名 1名 1名 28名
8月	岡山県特定給食施設関係者研修会 福祉の就職総合フェア岡山 令和5年度福祉の職場見学体験ツアーにおけるteam smile活動 2023年度介護福祉士実習指導者講習会 令和5年度認知症介護実践者研修 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース 令和5年度(第54回) 中国地区老人福祉施設研修大会 栄養改善教室派遣  所内研修：褥瘡とポジショニングについて	2名 2名 1名 3名 1名 3名 3名 3名 2名 14名
9月	岡山医療福祉専門学校卒業後6カ月研修 令和5年度認知症介護実践者研修	2名 1名

10月	Okayama 福祉・介護魅力発信プロジェクト すまいる宣言法人広報部「team smile」活動 令和5年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース 栄養士・管理栄養士の資質向上を図るための研修会 翔南高校生活福祉系列講師派遣	1名 4名 2名 1名
11月	倉敷市特養連絡協議会定例会 令和5年度甲種防火管理者新規講習  所内研修：感染症・食中毒について	1名 1名  30名
12月	令和5年度岡山県老人福祉施設協議会 カスタマーハラスメント対策研修会 岡山県老協次世代委員会第1回広報誌担当班会議 令和5年度福祉・介護人材確保推進事業 キャリア形成訪問指導事業・セミナー研修 令和5年度苦情解決研修 栄養改善教室派遣  所内研修：認知症について（動画研修）	2名 1名 2名 1名 2名  42名
1月	認知症サポーター養成講座派遣 令和5年度 岡山県高齢者虐待防止研修 令和6年能登半島地震に係る岡山災害派遣福祉(DWAT)チーム員の派遣 翔南高校実習事前説明派遣 栄養改善教室派遣  所内研修：職業倫理と法令遵守について	2名 1名 1名 1名 2名  27名
2月	第37回岡山県栄養改善学会 令和6年能登半島地震に係る岡山災害派遣福祉(DWAT)チーム員の派遣 第8回 防災講演会 令和5年度福祉の就職フェア岡山第4回 備中地区老人福祉施設協議会 職員研修会	2名 2名 1名 2名 1名
3月	令和5年度岡山医療福祉専門学校卒業式出席 令和5年度岡山医療福祉専門学校卒業パーティ出席 令和5年度旭川荘厚生専門学院卒業証書授与式 令和6年能登半島地震の発生に伴う1.5次避難所への介護職員応援派遣 岡山DWAT／備中圏域 チーム員意見交換会 令和6年能登半島地震に係る岡山災害派遣福祉(DWAT)チーム員の派遣 令和5年度倉敷市介護保険事業者等連絡協議会第3回研修会 不適切ケアと身体拘束廃止 介護保険サービス事業者集団指導  所内研修：面会受け入れについて 所内研修：口腔ケアについて（動画研修）	1名 2名 1名 4名  2名 1名 2名 3名  64名 25名

<実習生受入実績>

	学校名・受入人数	実習内容
4月	なし	
5月	旭川荘厚生専門学院 (2名)	介護福祉士養成実習
6月	旭川荘厚生専門学院 (2名) 岡山医療福祉専門学校 (2名)	介護福祉士養成実習 介護福祉士養成実習
7月	岡山医療福祉専門学校 (10名)	施設見学実習
8月	岡山医療福祉専門学校 (4名)	社会福祉主事任用資格実習
9月	川崎医療福祉大学 (1名) 岡山医療福祉専門学校 (3名)	施設見学実習 介護福祉士養成実習
10月	岡山医療福祉専門学校 (5名)	介護福祉士養成実習
11月	岡山医療福祉専門学校 (2名) 岡山医療福祉専門学校 (1名)	介護福祉士養成実習 社会福祉士養成実習
12月	なし	
1月	中国学園大学 (1名)	管理栄養士養成実習
2月	中国学園大学 (1名) ウェル福祉学習センター (3名) 倉敷翔南高等学校 (4名)	管理栄養士養成実習 介護福祉士養成実習 介護福祉士養成実習
3月	岡山医療福祉専門学校 (3名)	社会福祉主事任用資格実習

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
4月	介護員2名：1日付 看護課長1名：1日付(定年後再雇用) 事務員1名：1日付(定年後再雇用)	デイサービスから介護員1名 フロア内異動5名 全て1日付	看護師1名：30日付
5月		フロア内異動1名：9日付	
6月		フロア内異動1名：10日付	
7月			
8月	介護員1名：1日付		
9月	看護師1名：1日付		

10月			
11月			
12月			介護員2名：31日付
1月	介護員1名：1日付	フロア内異動2名：1日付	介護員1名：31日付
2月	介護員2名：1日付		
3月			看護師1名：31日付
合計	9名	10名	5名

## シルバーデイサービスセンター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### 「相談員」

### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
  - a. ご利用者のニーズとご家族のニーズを捉え、デイを含めた在宅生活を安心して過ごせるよう相談援助を行なう。
2. 具体的方針
  - a. 日々の関わりの中で、ご利用者の要望や不満、悩み事等何でも相談できる雰囲気を作る。
  - b. ご家族とケアマネージャーとの連携を深めることで家族とご利用者の課題の分析を行う。
  - c. 個別プログラムの充実（日々の個別・小グループでの作業レク、生活機能訓練、手芸、脳活等のメニューやレクリエーション及び館外リハビリ）を図り、利用者個人がサービス内容を選択・決定できる体制作り行なう。

### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
  - a. 家族や地域住民、介護保険事業者やインフォーマルサービスとの交流を深め、地域の方に信頼される施設を目指す。
2. 具体的方針
  - a. 積極的に地域コミュニティに参加し、デイサービスの事を知って頂けるよう広報する。
  - b. 毎月1回以上関係居宅を訪問し情報提供すると共に、ケアマネが持つ新規ニーズの吸い上げを行う。
  - c. 地域の方が気軽に訪問できるよう、環境面（施設周りの整備、花を植える等）を整えていく。
  - d. 家族との交流を密にして、ご利用者の自宅での様子など情報収集を行い、サービスの向上に活かす。

### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
  - a. 社内外研修の研修を通じて各職種の専門性を高める。
  - b. 職員間の情報共有と意思統一を徹底する
2. 具体的方針
  - a. 職員の介護技術・知識、接遇面の向上と仕事へのモチベーション維持の為の研修の開催、ご利用者の状態把握の為のミーティングを定期的に行う。
  - b. 日々のミーティングだけでなく業務中の意見交換にて職員間で情報を共有をする。
  - c. 他事業所の相談員、介護支援専門員等と交流を持ち、必要に応じて情報交換を行う

### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
  - a. 「安定した経営」を念頭に置き、稼働率80%、平均要介護度1.9を目標とする。
  - b. コスト意識を高めるよう各職員への意識づけを行う。
  - c. 時間外で行っている業務を整理し、残業時間の削減に努める。
2. 具体的方針

- a. 施設サービスの充実と職員の個々の質を高め、現場職員と連携し在籍利用者の定着と新規利用者獲得を目指す。
- b. 施設備品の取り扱いを丁寧に行い、無駄な出費を防ぐ。
- c. 現場職員と連携し、相談員業務が業務時間帯に効率的に行えるようにし、無駄な残業を減らす。

## <評価>

### 【相談員】

- ・ご利用者のニーズ・ご家族のニーズを的確に把握することが出来ており、安心して在宅生活が過ごせるように職員間で情報共有しサービスを提供することが出来ていた。日常的な相談や生活に必要な援助、他サービスへと繋げることは継続して出来てきている。
- ・地域との関わりや、ボランティアの受け入れといった外部との関わりにおいてはほとんど持てなかった。関係するケアマネージャーとの関り連携は密に行えており、地域の課題の把握はある程度出来ていた。
- ・研修は必要最低限しか参加出来ず、今後はオンライン研修などを有効に活用し研修の機会を確保したい。
- ・年間を通じて目標の稼働率を達成することが出来た。収益も過去最高となり健全な運営が出来た。コスト意識は常に持ち、経費削減の意識を職員へ伝達し、実践させることが比較的出来ている。全体としてはおおよそ適正に経費を使用した。

### 「看護師（機能訓練指導員）」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
  - a. ご利用者の病歴や内服の現状を把握し必要に応じて主治医の情報と指導を得て健康管理をする。
  - b. 思いやりのある優しい看護に努める。
  - c. ご利用者から頼られ信頼されるように接する。
2. 具体的方針
  - a. 日々のバイタルサインのチェックや状態変化の早期発見に努める為も、内服中の処方、病歴を家族やケアマネージャーに協力してもらい情報収集する。
  - b. 表情と挨拶に気を遣い、気持ちの良い関係の構築
  - c. 利用者のニーズを把握し、それに応じた個別の機能訓練を考案・実施する（マッサージ、赤外線、ホットパック、歩行訓練、自転車運動、生活動作訓練、筋力強化訓練等、手指訓練、プーリー、下肢筋力強化訓練、移乗訓練等）
  - d. 個別プログラムの充実（日々の個別・小グループでの作業レク、生活機能訓練、手芸、脳活等のメニューやレクリエーション及び館外機能訓練）を図り、利用者個人がサービス内容を選択・決定できる体制作り行なう。
  - e. 個別の機能訓練をPDCAサイクルにより継続的に改善する

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
  - a. ご利用者の家族との情報、連絡を密にして信頼関係を築く
  - b. 他事業所との連携を密にする。
2. 具体的方針
  - a. 家族や近隣住民及び施設訪問者に対し、気持ちの良い挨拶、対応の実施。
  - b. 他事業所との連携を取り交流を図る。

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 社内外研修に参加し新しい知識・技術を身につける。
  - b. 職員間の情報共有を徹底し、率先して意見を出し合うよう会議の参加を促す。
2. 具体的方針
- a. 医療知識の向上の為に研修に進んで参加する。（年に2回以上）
  - b. 職員やご利用者の健康管理における情報を発信し、職員間で共有する。

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

1. 部署別方針
- a. 「安定した経営」を念頭に置く
  - b. 経費の削減に努める
2. 具体的方針
- a. 顧客の体調変化に注意し、長期休みに繋がらないよう、必要に応じてアドバイスをする。
  - b. ご利用者の方で医療処置を必要とする方は自己準備をしていただけるように家族やケアマネージャーを通して協力して頂く。

**<評価>**

**【看護師（機能訓練指導員）】**

- ・顧客の現状を把握するよう、毎日のバイタルチェックや身体状況の把握に努めることできた。思いやりのある優しい看護も実践できている。ご利用者からの信頼も得られている。個別の機能訓練では個人のニーズに対応出来ており、必要な訓練を提案することができた。
- ・家族やケアマネに必要な情報提供を積極的に行うことが出来た。
- ・内部外部研修に参加する機会がなく、新しい知識や情報収集といった面では物足りなかった。次年度以降はオンライン研修を中心に増加させていく必要がある。
- ・今年度もコスト意識を高く持ち無駄な経費をかけていない。今後も必要最低限の医療器具は購入する方針である。

**「介護員」**

**<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。**

1. 部署別方針
- a. ご利用者一人一人に思いやりのある、安心できる介護を行う。
  - b. ご利用者の状態を把握し声かけの徹底と、お客様が楽しく過ごす工夫を考案する。
2. 具体的方法
- a. お客様の言動に注意し笑顔で接し、思いやりの心で接する。また、相談事には話を傾聴し安心して過ごして頂く。
  - b. 個別プログラムの充実（日々の個別・小グループでの作業レク、生活機能訓練、手芸、脳活等のメニューやレクリエーション及び館外機能訓練）を図り、利用者個人がサービス内容を選択・決定できる体制作りと援助を行なう。

**<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。**

1. 部署別方針
- a. 他職種間・地域住民との交流を持ち、情報交換を行い情報の共有をする。
2. 具体的方針
- a. 家族や他施設関係者と連携をとり、また地域住民の与交流を図ることで信頼関係を築く。
  - b. 家族からの情報収集を行う。

**<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。**

1. 部署別方針
- a. 新しい技術・知識の向上に努める

## 2. 具体的方針

- a. 社内研修や外部研修に積極的に参加し個人のスキルアップを図り、サービスの向上を目指す
- b. 他職種間において密接な関係を持ち、お客様にとって最善のおもてなしが出来るようにする。
- c. 月に一回の社内研修に出来るだけ参加を促す。

### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

#### 1. 部署別方針

- a. お客様のご利用の継続を念頭に置く
- b. 施設内の物品等の無駄使いをしない

#### 2. 具体的方針

- a. 体調面における異常の早期発見にて、看護と協力しケア面・メンタル面が低下しないように、お客様の長期休みに繋がらないようにする。
- b. 施設サービスの充実と職員の個々の質を高め、在籍利用者の定着を目指す。
- c. 消耗品の浪費や節電を念頭に置く（エアコンの温度設定の適正。入浴時のシャワーを細めに止める。閉館後や使用しない電気の節電。ボイラー使用後の停止。朝・夕の館内整理整頓。）

### <評価>

#### 【介護員】

- ・安心して過ごす事が出来るようご利用者のニーズに合わせてサービス提供出来ていた。ご利用者の訴えに傾聴し、精神的なケアや身体面への細やかな気付きが早期の異常の発見に繋がっていた。人員の確保が出来たことで手厚い介護が行えた。
- ・地域との交流では接点が持てなかった。送迎時の利用者ご家族との情報交換は密に出来ていた。
- ・外部研修は必要最低限のものに限っていた。次年度以降はオンライン研修を中心に研修参加を増やしていきたい。資格の取得に関しては1名が介護福祉士に合格し、これにより全介護員が国家資格を保有することができている。
- ・施設備品など無駄な購入がないよう大切に扱い、消耗品の使用方法においても注意を払い使用することができた。利用者の体調の変化は看護師と連携し早期発見し、長期の休みに繋がらないよう努めていた。

### <利用実績>

	開館日数	平均利用者	平均要介護度	稼働率(%)
4月	25	32.28名	1.84	92.22%
5月	27	31.63名	1.85	90.37%
6月	26	30.77名	1.92	87.91%
7月	26	30.50名	1.94	87.14%
8月	27	29.52名	1.91	84.34%
9月	26	29.38名	1.99	83.94%

10月	26	31.00名	1.95	88.57%
11月	26	30.19名	1.97	86.25%
12月	26	27.77名	1.95	79.14%
1月	24	28.75名	1.92	82.14%
2月	25	27.72名	1.74	79.2%
3月	26	27.81名	1.91	79.45%
合計 (令和5年度)実績	309	29.79名	1.90	85.11
(令和4年度)実績	309	29.61名	1.89	84.6%

〈評価〉 年度目標値として一日平均29.5名、介護度1.80を設定。

認知症高齢者、重度介護者等、施設方針に合わせたご利用者が多数ご利用になっている。今年度も年度を通じて安定した運営が出来た。安定して新規の利用希望があり、地域から選ばれる施設となっている。目標の利用者数は達成できたが、11月以降、急激なご利用者の利用中止（ご逝去や入院）が増えたことで実績が大きく下がり、年度中の回復には至らなかったため、次年度へ課題を抱えたまま年度開始となる。急激な利用者減に対応は難しいが、地域のニーズを拾うことが出来ているので、今後も現在の方針で営業を続けていく。

#### <主な業務日課>

時間	日課
8:00	朝のミーティング、送迎、館内外清掃、利用者受け入れ準備、入浴準備
9:00	手指消毒、お茶配布、バイタルチェック、昼食確認、トイレ誘導
10:00	入浴誘導、着脱介助、入浴（普通浴・リフト浴）介助、水分補給、物理療法、個別機能訓練、個別作業、脳トレ、手芸教室
11:45	手指消毒、昼食準備、テーブル拭き、嚥下体操、お茶配布、配膳準備
12:00	昼食配膳、食事介助、服薬確認、トイレ誘導、口腔ケア
13:00	集団体操、個別作業、個別機能訓練、季節行事 オンラインヨガ（月曜日：月2回） フラワーアレンジメント教室（月2回）
14:00	レクリエーション、個別作業、個別機能訓練、季節行事、おやつ配布準備 ほのぼのNEXT（介護・看護記録入力）
15:00	おやつ配布、排泄介助
15:15	今月の歌、帰りの体操
15:30	送迎開始、最終送迎16:00頃

16:00	掃除、翌日準備
16:45	ミーティング・カンファレンス
17:00	終業

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事報告	ボランティア受入報告
4月	花見ドライブ 変わり風呂（桜）	
5月	5日端午の節句イベント 変わり風呂（菖蒲湯）	
6月	29日バーベキュー大会 変わり風呂（ラベンダー風呂）	
7月	7日食事会（ざるそうめん） 変わり風呂（森林浴風呂）	
8月	22日夏祭り 変わり風呂（レモン風呂）	
9月	18日敬老会 変わり風呂（りんご風呂）	
10月	変わり風呂（ぶどう風呂） 12日運動会 24日駄菓子屋イベント	
11月	変わり風呂（お楽しみ風呂） 10日秋のおやつ会	
12月	25日クリスマス会 28日もちつき 26日門松作り 変わり風呂（柚子風呂）	
1月	10日新年会 変わり風呂（みかん風呂）	
2月	2日節分祭 変わり風呂（桃風呂）	
3月	2日ひな巡り 変わり風呂（桜風呂）	

<毎月定期の行事>

誕生日会（利用者の誕生日毎に実施）

オンラインヨガ：月2回（月曜日） 手芸教室：木曜日  
 フラワーアレンジメント教室（月2回、不定期）

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月		
5月		
6月		
7月	食中毒と感染症について	13名
8月		
9月		
10月		
11月	令和5年度安全運転管理者講習会 第21回日本通所ケア研究大会	1名 1名
12月		
1月	認知症について	13名
2月	法令遵守と職業倫理について	13名
3月	介護保険サービス事業者集団指導 高齢者虐待研修	1名 13名

毎月第3金曜：行事ミーティング・業務改善会議  
 毎月最終木曜：デイサービス全体会議（書面）

<実習生受入実績>

	学校名・受入人数	実習内容
4月		
5月		
6月	岡山医療専門学校2年生（2名）	介護実習
7月	岡山医療専門学校1年生	施設見学
8月		
9月		
10月	岡山医療専門学校通信（1名）	社会福祉実習

11月		
12月		
1月		
2月	翔南高校(4名) ウエル福祉学習センター (3名)	介護実習 介護実習
3月		

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
4月		倉敷シルバーセンターへ 介護員1名：1日付け シルバー在宅介護支援セン ターから 介護員1名：1日付け 倉敷シルバーナーシング ホームより 看護師1名：1日付け 介護員1名：1日付け	
合計	0名	4名	0名

## シルバー在宅介護支援センター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### <行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- あいさつや態度に気をつけ、笑顔で優しい声かけを心がける。
- しっかり傾聴し思いを受け止め、不安な気持ちを軽減できるように心がける。
- アセスメントを行い、本人家族に合った在宅生活の提案を行い、速やかに対応する。

#### <行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域包括支援センターと連携し、地域からの相談に速やかに対応する。
- スムーズな利用者支援の為、地域の医療福祉事業所との顔の見える関係をつくる。
- インフォーマルな社会資源の収集に努め、利用者支援に活用する。
- 安全運転を心掛ける。(新規)

#### <行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- ケアマネ交流会や研修などに積極的に参加して多職種間での情報交換を行い自らの知識の習得に努める。
- 居宅会議や朝礼で情報の共有、検討を行い、プランに生かす。
- 報告や情報提供を受け、円滑に連絡、相談をし適切な支援や連携を図る。(新規)
- 利用者、家族、他事業所の職員に不快な思いを抱かせないように接遇マナーを意識し行動する。

#### <行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 他部署との連携を図り、鷺山会全体の業績アップを目指す。
- 備品を丁寧に扱い、消耗品の節約をし、無駄な出費にならないよう心がける。
- 身の回り業務内容の整理整頓を行い時間を有効活用する。
- 医療連携を積極的に行い、加算に繋げる。

### <評価>

- 感染症対策でマスク着用下での利用者対応を行ったが、不安や不快を感じられないように心掛け、相談していただける関係づくりが行えた。
- 地域住民や、他事業所、病院等と連携を行い、スムーズな新規利用者の受け入れやサービス提供を行うことが出来た。
- オンラインと対面での研修会に積極的に参加し個々のスキルアップに努めてきた。
- 法人内での役割を理解し他部署と連携を図り、業績の向上に繋げる事が出来た。

### <利用実績>

月	給付管理 実績件数	予防	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
4月	173	30	66	68	28	6	5
5月	173	30	66	65	29	7	6
6月	173	30	64	64	33	7	5

7月	172	30	66	61	33	7	5
8月	171	34	64	65	31	7	4
9月	167	34	65	62	28	8	4
10月	169	37	66	61	29	10	3
11月	172	34	69	59	31	10	3
12月	177	34	69	59	33	12	4
1月	172	37	68	55	31	14	4
2月	167	37	71	53	29	12	2
3月	171	39	73	53	29	14	2
5年度平均	171	33.8	59.7	57.9	30.3	9.5	3.9
4年度平均	160.8	28.5	64	59.4	24.1	9	4.3

<評価>

地域と連携し積極的な利用者の受け入れを行い実績件数は前年度を大きく上回っている。次年度も行動理念を念頭に、安定した実績の確保や目標の達成に努めていきたい。

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月	居宅会議	5名
5月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	5名 2名
6月	居宅会議	5名
7月	居宅会議	5名
8月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	5名 2名
9月	居宅会議	5名
10月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	5名 2名
11月	居宅会議 児島地区ケアマネ交流研修会	5名 2名

12月	居宅会議	5名
1月	居宅会議	5名
2月	居宅会議	5名
3月	居宅会議	5名

**<職員採用・退職・異動実績>**

令和5年4月1日より、常勤選任1名育児休暇より復帰

## 倉敷市児島中部高齢者支援センター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### <行動理念1.>ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- あいさつや態度に気をつけ、笑顔でやさしい声かけを心がける。
- しっかり傾聴し思いを受け止め、不安な気持ちを軽減できるように心がける。
- アセスメントを行い、本人家族に合った在宅生活の提案を行い、速やかに対応する。
- 職員間の情報交換を密に行い、より良いサービスを提案する。

#### <行動理念2.>地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域の方との交流を図り信頼関係を深める。
- 地域課題を把握し、解決に向けて地域の方と一緒に考え活動する。
- 教室開催、如の活動の支援を行い地域の方の健康増進に努める。

#### <行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 各自、目標を持ち、進んで研修に参加する。
- 日々の活動の中で、状況把握と自ら考え判断し行動する。
- 常に情報交換を行い、新しく活用できる内容は、積極的に取り入れる。

#### <行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- センター内で、日々の業務量を調整し、時間を有効活用する。
- 消耗品の節約、備品を大切に適切に使用し無駄遣いを無くす。
- 新規実態把握調査を行い問題の早期発見と対応に努める。

### <評価>

- 積極的に地域住民との関わりを持つことで、各地域の課題を見つけ、住民と共に解決に向けての活動を行うことができた。
- 各自が個人目標達成に向けて研修参加や、個別ケースを積極的に担当する等でスキルアップに努めることができた。今後は得た知識や情報の共有を積極的に行い部署全体のスキルアップに繋がりたい。
- 新規実態把握調査を積極的に行い、問題の早期発見、地域住民との信頼関係の構築に努めることができた。

### <予防プラン実績>

	新規	再委託	合計
令和5年4月	9	82	256
5月	13	84	265
6月	12	81	267
7月	15	85	271

8月	14	88	278
9月	10	91	291
10月	12	90	289
11月	7	90	286
12月	6	87	278
1月	11	88	281
2月	12	91	290
3月	11	95	295
合計	132	1052	3347

<評価>

- 圏域内の高齢者人口も増加傾向となっており、介護保険サービスの利用を希望される方が増えている。また、独居高齢者も増えており、介入時には多職種連携が必須になるケースも多い。ご利用者のご家族の希望に寄り添えるように、スピーディーで丁寧な対応を心掛けている。

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称
4月	5日 児島集会所:家族介護教室 13日 サロン中山:家族介護教室 14日 緑丘愛育委員会定例会 14日 児島愛育委員会定例会 16日 児島小学校区小地域ケア会議準備会 19日 帆千谷:家族介護教室 20日 緑丘小学校区小地域ケア会議 21日 児島地区職員連絡会 21日 琴浦西小学校区小地域ケア会議打ち合わせ 27日 市営中山:家族介護教室 27日 権利擁護ネットワーク会議
5月	9日 天王集会所:家族介護教室 10日 上の町愛育委員会総会 11日 ぽっかぽか:家族介護教室 11日 新見DS運営推進会議 12日 児島地区ケアマネ交流会センター挨拶 16日 児島小学校区小地域ケア会議 18日 緑丘小学校区小地域ケア会議 19日 児島地区職員連絡会 22日 滑公会堂:家族介護教室

	<p>22日 中山団地愛育委員会定例会: 県営中山集会所  23日 GHたじま・あけぼの運営推進会議  24日 児島地区民生委員会  25日 市営中山: 家族介護教室  25日 権利擁護ネットワーク会議  26日 高齢者支援センター職員連絡会総会</p>
6月	<p>2日 緑丘コミュニティー: 家族介護教室  6日 久保公会堂: 家族介護教室  7日 児島集会所: 介護予防  7日 事例検討会  8日 児島地区地域ケア会議  12日 ゆずり葉の会総会  13日 天王老人会: 家族介護教室  14日 のぞみクラブ: 家族介護教室  15日 緑丘小学校区小地域ケア会議  16日 児島地区職員連絡会  19日 新児島団地カフェ  20日 児島小学校区小地域ケア会議  21日 元気かい: 家族介護教室  21日 中の谷: 家族介護教室  22日 市営中山: 転骨①  22日 権利擁護ネットワーク  23日 GH大正橋運営推進会議  24日 支援協研修  27日 民生委員児童委員講演会: ジーンズホール  29日 翔南高校認知症サポーター養成講座  30日 翔南高校認知症サポーター養成講座</p>
7月	<p>3日 どんぐりの会: 家族介護教室  4日 児島地区地域ケア個別会議  5日 児島集会所: 介護予防  6日 困難事例検討会議: 児島支所401会議室  7日 令和5年度センター事業計画面談: 本庁106会議室  7日 (特養)岡山医療福祉専門学校施設見学実習  7日 児島愛育委員会定例会  7日 緑丘愛育委員会定例会  11日 柳田老人会認知症サポーター養成講座: 柳田西側公会堂  12日 上の町愛育委員会定例会  13日 笑遊会: 家族介護教室  14日 ケアマネ交流会「スーパービジョン」児島支所大会議室  18日 児島小学校区小地域ケア会議  18日 グループホームたじま・あけぼの運営推進会議  20日 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会  21日 児島地区職員連絡会  26日 小規模多機能ホームだんらん運営推進会議  27日 市営中山: 転骨②</p>

	<p>27日 権利擁護ネットワーク会議</p> <p>28日 全体研修「個と地域をつなぐアプローチ」:ライフパーク 中ホール</p>
8月	<p>2日、8日 岡山医療福祉専門学校社会福祉主事 実習生受け入れ</p> <p>2日 児島集会所:介護予防教室</p> <p>7日 岡山医療福祉専門学校実習生事前訪問対応</p> <p>7日 介護サポート運営推進会議</p> <p>9日 上の町愛育委員会定例会</p> <p>10日 地域包括ケアシステム情報交換会「語ろう!複合的課題を抱えるのケース」 きらめきプラザ</p> <p>14日 ガーデンタウン児島スマイル:家族介護教室</p> <p>17日 緑丘小学校区小地域ケア会議</p> <p>18日 児島地区職員連絡会</p> <p>19日 つながるパントリー本番</p> <p>22日 グループホーム大正橋運営推進会議</p> <p>24日 権利擁護ネットワーク会議</p>
9月	<p>2日 児島健康まつり</p> <p>6日 児島集会所:家族介護教室</p> <p>8日 サロン中山</p> <p>8日 緑丘愛育委員会定例会:ミニ健康展、認サポの話し合い</p> <p>11日 岡山医療福祉専門学校 社会福祉学科通信課程実習開始日</p> <p>12日 小川中公会堂:家族介護教室</p> <p>13日 上の町ミニ健康展</p> <p>14日 児島地区地域ケア会議</p> <p>15日 児島地区職員連絡会</p> <p>19日 児島小学校区小地域ケア会議</p> <p>21日 転倒骨折予防教室②:市営中山</p> <p>21日 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会</p> <p>22日 すがの電器認知症サポーター養成講座</p> <p>22日 琴浦西・南民生委員会</p> <p>26日 緑丘ミニ健康展</p> <p>28日 権利擁護ネットワーク会議</p> <p>29日 全体研修:「見守り力アップ講座」:ライフパーク倉敷</p>
10月	<p>3日 地域ケア個別会議:児島支所大会議室</p> <p>4日 児島集会所:転倒骨折予防教室①</p> <p>6日 児島愛育委員会定例会:ミニ健康展の話し合い</p> <p>6日 緑丘愛育委員会定例会にて認サポ</p> <p>11日 中の谷:転倒骨折予防教室</p> <p>12日 サロン中山:家族介護教室</p> <p>13日 児島ミニ健康展</p> <p>18日 帆の谷:家族介護教室</p> <p>20日 児島地区職員連絡会</p> <p>26日 市営中山:転倒骨折予防教室③</p> <p>26日 権利擁護ネットワーク会議</p> <p>26日 ハローワーク移動相談会</p>

11月	<p>1日 児島集会所: 転倒骨折予防教室②</p> <p>1日 中の谷: 転倒骨折予防教室②</p> <p>2日 ボートレース場移動相談会</p> <p>2日 民生委員さんと専門職のなんでも相談会打ち合わせ</p> <p>4日 高齢者のつどい</p> <p>8日 民生委員さんと専門職のなんでも相談会</p> <p>10日 児島地区ケアマネ交流研修会「地域ケア個別会議」</p> <p>11日 サロンつばさ: 家族介護教室</p> <p>16日 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会</p> <p>16日 笑遊会: 家族介護教室</p> <p>17日 岡山医療福祉専門学校巡回訪問対応</p> <p>17日 児島地区職員連絡会</p> <p>21日 児島小学校区小地域ケア会議</p> <p>23日 市営中山: 介護予防教室(口腔)</p> <p>23日 緑丘ウォーキング</p> <p>25日 児島地区栄養祭り</p> <p>27日 通所介護介護さぽーと運営推進会議</p> <p>28日 児島地区民生委員会</p> <p>29日 全体研修「地区診断」</p> <p>30日 権利擁護ネットワーク会議</p>
12月	<p>4日 滑公会堂: 家族介護教室</p> <p>5日 岡山医療福祉専門学校実習生 実習報告会</p> <p>6日 児島集会所: 転倒骨折予防教室③</p> <p>6日 中の谷: 転倒骨折予防教室③</p> <p>7日 ぽっかぽか: 家族介護教室</p> <p>8日 緑丘愛育委員会定例会</p> <p>8日 児島健康ウォーク</p> <p>13日 上の町愛育委員会定例会</p> <p>13日 のぞみクラブ: 家族介護教室</p> <p>14日 サロン中山: 栄養改善教室</p> <p>14日 児島地区地域ケア会議</p> <p>15日 児島地区職員連絡会</p> <p>18日 GH大正橋運営推進会議(川原)</p> <p>19日 児島小学校区小地域ケア会議準備会</p> <p>21日 認知症サポーター養成講座オンライン説明会</p> <p>21日 緑丘小学校区小地域ケア会議</p> <p>28日 権利擁護ネットワーク会議</p>
1月	<p>16日 児島小学校区小地域ケア会議</p> <p>18日 緑丘小学校区小地域ケア会議</p> <p>19日 緑丘コミュニティー: 栄養改善教室</p> <p>19日 児島地区職員連絡会</p> <p>19日 )地区会后 民生委員児童委員・主任児童委員さんと専門職のなんでも相談会打ち合わせ</p> <p>19日 所内研修「法令遵守と職業倫理について」</p> <p>20日 サロン交流会: ファッションセンター</p>

	24日 児島小学校認知症サポーター養成講座 24日 琴浦西小学校認知症サポーター養成講座 25日 市営中山:介護予防教室(栄養) 25日 ゆずり葉の会:新年会(川原) 25日 権利擁護ネットワーク会議:玉島支所
2月	5日 どんぐりの会:家族介護教室 7日 児島集会所:家族介護教室 7日 琴浦西小学校認知症サポーター養成講座 12日 ガーデンタウン児島スマイル:家族介護教室 13日 全体研修:「困難事例について」:倉敷市保健医療センター 14日 地域ケア個別会議フォロー研修:くらしき健康福祉プラザ 15日 緑丘小学校区小地域ケア会議 16日 児島地区職員連絡会 17日 (集合8:30)防災講演会 20日 児島小学校区小地域ケア会議準備会 22日 市営中山:介護予防教室(運動) 22日 権利擁護ネットワーク会議:プラザ
3月	5日 高齢者支援センター事業説明会:Zoom 6日 児島集会所:家族介護教室12日 集団指導:くらしき健康福祉プラザ5階 12日 児島地区民生委員会定例会:マリンプール 14日 児島地区地域ケア会議:中山体育館15日児島地区職員連絡会 18日 高齢者支援センター期末面談:本庁 19日 岡山医療福祉専門学校実習生(特養:社会福祉主事実習)受け入れ 19日 児島小学校区小地域ケア会議 21日 緑丘小学校区小地域ケア会議準備会 26日 GHたじま・あけぼの運営推進会議 28日 市営中山:家族介護教室28日権利擁護ネットワーク会議:児島支所 29日 すがの電器(エコー・トルト)

毎月第3水曜日PM・・・主任ケアマネ部会

毎月第4火曜日AM・・・保健師部会

毎月第4火曜日PM・・・社会福祉士部会

毎月第3金曜日PM・・・児島地区職員連絡会～小地域ケア会議情報交換会

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
4月			
5月			
6月			
7月			

8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計	0名	0名	0名



7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
<b>合計</b>	<b>21</b>												
<b>平均</b>	<b>1.9</b>	<b>1.9</b>	<b>1.9</b>	<b>1.9</b>	<b>2.1</b>								

<評価>

・年間を通じて、稼働率100%であり、十分に稼働できていた。

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事報告	ボランティア受入報告
4月	01日、03日お花見ドライブ 06日お花見弁当（5階ラウンジ） 14日おやつ作り（桜餅） 20日食事フェスタ（アジアンフェア） 27日テイクアウト祭	12日、26日エアロビ教室
5月	05日おやつ作り（柏餅） 18日日帰り旅行（四国水族館） 25日食事フェスタ（手巻き寿司）	10日、24日エアロビ教室
6月	08日テイクアウト祭 16日おやつ作り(フルーツ生春巻き) 22日食事フェスタ(冷やし麺祭)	14日、28日エアロビ教室
7月	07日七夕会 13日外出行事（くりはら） 14日おやつ作り(ところてん) 27日食事フェスタ(鉄板焼き)	12日、26日エアロビ教室
8月	08日テイクアウト祭 18日おやつ作り(冷やしぜんざい) 31日食事フェスタ(カレーフェア)	09日、23日エアロビ教室

9月	08日おやつ作り（月見団子） 17日周年記念敬老会 21日食事フェスタ（パン祭り）	13日、27日エアロビ教室
10月	05日テイクアウト祭 07日だんじり見学 12日アイスフィンク 13日おやつ作り（たこ焼き） 26日食事フェスタ（ごはん祭）	11日、25日エアロビ教室
11月	09日外出行事（甲羅倉敷本店） 09日紅葉ドライブ 10日おやつ作り（サンドイッチ） 16日食事フェスタ（寿司祭り）	08日、12日エアロビ教室
12月	07日テイクアウト祭 15日おやつ作り（チーズ、チョコフォンデュ） 19日食事フェスタ（忘年会） 22日ゆず湯 22日クリスマス会 27日生け花 28日もちつき	13日、27日エアロビ教室
1月	01日お屠蘇 11日テイクアウト祭 12日おやつ作り（ぜんざい） 18日食事フェスタ（カニ鍋） 24日初詣（由加山） 25日初詣（由加山）	10日、31日エアロビ教室
2月	02日節分祭 09日おやつ作り（クレープ） 15日テイクアウト祭 29日食事フェスタ（オリジナル鍋）	14日、28日エアロビ教室
3月	01日雛祭り 14日外出行事（8番らーめん） 14日外出行事（ファーマーズマーケット） 15日おやつ作り（たこ焼き） 28日食事フェスタ（すき焼き）	13日、27日エアロビ教室

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者氏名
4月		
5月		
6月		
7月	所内研修「感染症と食中毒について」	1名

8月	所外研修「中国地区老施協研修大会」 所内研修「床ずれとポジショニングについて」	1名 1名
9月		
10月	所外研修「倉敷市内軽費老人ホーム施設長会」	1名
11月	所内研修「認知症の理解とケアについて」 所内研修「感染症と食中毒について」	3名 1名
12月		
1月	法人研修「職業倫理と法令遵守について」 所外研修「認知症ケア実践者研修」	1名 1名
2月	所外研修「高齢者虐待防止研修」 所外研修「老施協／軽費ケアハウス部会】事例発表・意見交換会」 所外研修「岡山県老施協研修」	1名 1名 1名
3月		

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
月			
合計	0名	0名	0名

# 令和5年度

## 事業報告書

社会福祉法人 鷺山会

- 介護老人保健施設  
倉敷シルバーナーシングホーム
- 通所リハビリ  
倉敷シルバーナーシングホーム・デイケア

## 介護老人保健施設 倉敷シルバーナーシングホーム 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

### 「相談員」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

##### 1. 部署別方針

- a. 利用者が、安心して、安全に過ごすことのできる施設運営を行う。
- b. ご利用者、ご家族、並びに職員の満足度を高める。

##### 2. 具体的方針

- a. 利用者、ご家族、職員をつなぐ役割として、情報収集、情報提供、情報共有に努める。
- b. 利用者の状態、ご家族の状況等を踏まえ、在宅復帰の検討を行う。
- c. 困難事例にアプローチできるよう、社会資源との連携、外部研修への参加等を通じて、支援相談員としての専門性を高める。

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

##### 1. 部署別方針

- a. 地域から信頼される施設運営を行う。
- b. 地域の福祉ニーズの発掘に努める。

##### 2. 具体的方針

- a. 相談者が魅力を感じ、積極的に施設へ足を運んでもらえるよう、近隣医療機関、居宅支援事業所等に対して、定期業務として、広報活動を行う。
- b. 定期的に、地域サロンを開催し、地域住民との交流を通じて、潜在的な福祉ニーズの発掘に努める。

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

##### 1. 部署別方針

- a. 所内研修、外部研修、委員会活動等を通じて、各職種の専門性を向上させる。
- b. 多職種間の連携を促進し、各部署の潜在能力を最大限に引き出す。

##### 2. 具体的方針

- a. 委員が主体となって、委員会を運営できるよう、研修の提案、制度の確認等、後方支援を行う。
- b. 多職種間での意見交換が活発に行われるよう、各種会議において、各職種の専門性が交わるような働きかけを行う。

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

##### 1. 部署別方針

- a. 効果、効率を考えた施設運営を行い、自らの努力で経営の健全化を図る。
- b. 時間外で行っている業務を整理し、残業時間の削減に努める。

##### 2. 具体的方策

- a. 近隣医療機関、居宅支援事業所等への訪問、空室情報の提供を、定期的に行い、新規入所希望者の確保、稼働率の安定に努める。
- b. 法人内の居宅事業所、通所事業所、軽費老人ホーム等と密に連携を行い、在宅復帰支援態勢の強化を図る。
- c. 相談員間の情報共有をこまめに行い、効率的に業務を分担することで、時間外業務を減らし、残業時間の削減に努める。

<評価>

【相談員】

- 協力医療機関、地域のケアマネジャーとのコミュニケーションを積極的に持つことを意識し取り組んだことで新規利用者の紹介や入退院時の調整がスムーズに行うことが出来た、また在宅復帰目的の利用者の紹介も増えたことで、ベッド回転率・在宅復帰率を伸ばすことができ、従来型では加算型の維持、ユニット型では加算型から強化型に上げることが出来、取り組みの成果が出ている。地域貢献活動として新児島団地自治会館で定期的にカフェを開催し、地域の方々との交流の場を設けることが出来た。今後も継続することで地域のニーズに沿った施設運営が行えるよう取り組みをしていきたい。

「事務員」

<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します

1. 部署別方針
  - a. 対話、挨拶を大切にする。
2. 具体的方策
  - a. 利用者、家族への明るい挨拶を心がける。

<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
  - a. 適切な対応。
2. 具体的方策
  - a. 身だしなみや言葉使いに注意し、姿勢を正すことを心がける。

<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
  - a. 公正性の確保と適正な処理。
2. 具体的方策
  - a. 予算管理及び収支状況を把握し、適切な業務処理を実施する。

<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
  - a. 適切な判断。
2. 具体的方策
  - a. 知識・経験・分析から、その選択に関わる情報を多く集め判断する。

<評価>

【事務員】

- 常にコスト意識を持ち取り組むことが出来た。引き続き、継続していく。
- 挨拶については意識し取り組んでいるが、気を抜いている時、業務に集中している時に遅れたりすることがあるので今後も気を付けていきたい。

「管理栄養士」

<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
  - a. 安心安全な美味しい食事を提供する。
2. 具体的方策
  - a. 食事時、おやつ時、また、その他の時間帯に積極的にフロアに行き、利用者様とコミュニケーションをとる。そこで得た意見を食事に反映する。

<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
  - a. 他部署との連携を図り、ご利用者様に喜んでいただける食事サービスを提供する。
2. 具体的方策

- a. 委託業者との連携を密に行い、利用者様に安心して喜んでいただける食事の提供を行う。
- b. 通所事業所での加算を算定し、在宅高齢者の栄養状態を把握する。

<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 情報収集を行う。

2. 具体的方策

- a. 研修や学会などで得た知識を施設職員へ伝達する。

<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. 物品の節約に努める。

2. 具体的方策

- a. 部品の必要性を見極め、無駄のない購入を行う。

<評価>

【栄養士】

- ミールラウンド等を通して積極的に利用者の食事摂取状況の把握に努めることが出来た、利用者から頂いた意見の食事提供は利用者の身体状況によって提供できないこともあったため、多職種と連携して可能な限り利用者の要望に沿った食提供に今後も努めてきたい。

## 「リハビリ課」

<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針

- a. 利用者のニーズを把握し、適切なリハビリテーションプログラムの作成と実施を行う。
- b. 在宅復帰を目標に他職種と情報の共有を図りチームアプローチを進めていく。

2. 具体的方策

- a. 利用者、家族のニーズを把握し、適切な個別リハビリテーションプログラムを作成・実施する。
- b. 他職種と情報の共有を行いながら、在宅復帰に向けたサポートを行う。

<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針

- a. 地域の各機関との情報共有を行い、タイムリーな対応、連携を進める。

2. 具体的方策

- a. 新しい情報を収集し、福祉医療分野を取り巻く地域の状況をチームで情報共有する。
- b. 地域の各機関と情報交換を行い連携を図り、切れ目のないリハビリテーションサービスの提供に努める。

<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 積極的な勉強会、研修会への参加や、個人的な知識技術の向上に努める。

2. 具体的方策

- a. 積極的に勉強会や研修会の参加など、知識技術の向上を図るよう努める。

<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. リハビリ室の管理、整頓を行いコスト意識を高める。

2. 具体的方策

- a. 感染対策やコスト意識を高めながら、リハビリ室の整理整頓、機器の管理を行う。

【リハ】

- 在宅復帰を目的に入所された利用者のリハビリを積極的に実施することが出来たが、リハビリの目標設定等で家族とのコミュニケーションが不足していると感じる部分もあった。
- 地域貢献活動で地域に出向きフレイル予防の指導や説明を行い、地域の方と交流を図ることが出来た。

今後も継続し交流を深めていきたい。

## 「看護課」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

### 1. 部署別方針

a. 利用者が安心して過ごせる環境を作る。

### 2. 具体的方策

- a. ご利用者の思いに共感し尊敬の思いを寄せて接する。
- b. 自尊心を傷つける事がないように丁寧な接遇や対応を心掛ける。
- c. 情報を共有し希望に添えるように対応する。
- d. 些細な体調の変化を見逃さない。

＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

### 1. 部署別方針

- a. 在宅復帰が出来るよう支援する。
- b. 地域に受け入れられる場所づくり。

### 2. 具体的方策

- a. 在宅復帰を念頭に置き衛材を考慮する。
- b. 在宅復帰に向け社会動向や福祉分野の状況を把握しながら他部署と情報を提供し対応につなげる。

＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

### 1. 部署別方針

- a. 統一したケアを提供する。
- b. 正しい知識や技術を共有する。

### 2. 具体的方策

- a. 技術、知識の情報を共有する。
- b. 研修に参加し新しい知識を習得する。
- c. 不明確なことはすぐに調べる。

＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

### 1. 部署別方針

- a. コスト意識を高める。
- b. 感染を広げない。

### 2. 具体的方策

- a. 物品の価格を知る。
- b. 無駄をなくす。
- c. 節電、節水を心掛ける。
- d. 再利用に努める。
- e. 感染症を持ち込まない、広げない意識をもつ。

## 【看護】

- 利用者の心情を押し量り寄り添った対応をすることが出来た。受診時に家族同伴の時には情報収集に心掛けた。
- 感染対策をしっかり行い感染拡大を予防することが出来た。

## 「介護課(従来型)」

＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

### 1. 部署別方針

- a. ご利用者の残存機能の維持。
- b. 「出来る事」を見つけ支援を行う。

### 2. 具体的方策

- a. 利用者との関わりを積極的に持つ。関りの中から出てきた事柄をケース記録に残し職員間の気付きや情報交換に役立てる。

- b. 日中、夜間帯の事はご利用者の生活の一連の流れである為、連動している事を意識して取り組む。
- c. 利用者との関わりの中で失敗する事が有れば今後に起きない様にしっかりと情報を発信し成功に繋げていく。
- d. 掃除や裁縫、レク、カラオケなど利用者が参加したい場を提供する。

**<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。**

**1. 部署別方針**

- a. 在宅復帰の支援に向けてご利用者の状態、状況を把握し、家族にも安心してもらえるケアの定時、提供を行う。
- b. 面会時、連絡時等にしっかりとした情報を提供できるようにご利用者の生活を把握する。

**2. 具体的方策**

- a. 在宅復帰に繋がるようなケアを提供する。
- b. 家族にも分かりやすく安心できるケアの説明を行う。
- c. 利用者の「生活の継続」を意識した関わりを持つ。
- d. 普段の業務の中で足りないと思った知識や技術等を積極的に研修や委員会を通じて習得していく。

**<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。**

**1. 部署別方針**

- a. 利用者にあった最適なケアや声掛けを行い、部署内で情報を共有し実践する。

**2. 具体的方策**

- a. 各委員会の委員や他部署との連携を図りケアの向上を図れるように情報収集や発信を行う。
- b. 最適なケアが提供出来るよう、研修や勉強会に積極的に参加し疑問や課題について発言や提案をしやすい環境にする。

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

**1. 部署別方針**

- a. 節電や節水を行う。
- b. 介護物品の無駄をなくし無駄遣いをしない。

**2. 具体的方策**

- a. こまめにシャワーを止める、使用していない空間の電気、エアコンを止める。車椅子の整備やエアコン等の手入れを行い長持ちさせる。
- b. 安易に大きめの排泄物品を使用しない。適正な物品使用方法を知る。

**<評価>**

**【従来型】**

- 職員間の情報共有が出来ておらず、業務に支障をきたすことがあったため、職員間の情報共有を密に行えるように改善していきたい。
- 職員からご家族に様子を伝える機会が少なく、家族と対面する機会が少なかった。在宅復帰対象者が定期的に入退所される機会が増えたことで生活リハビリを意識して取り組むことが出来てきているが、利用者・家族に対する在宅での介助方法等の情報発信が不足しているため、積極的に家族と連携をとる機会を設ける必要がある。

**「介護課(ユニット型)」**

**<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。**

**1. 部署別方針**

- a. 入居者一人一人の思いを尊重し、寄り添えるケアの提供。

**2. 具体的方策**

- a. 入居者の要望を理解した上で、個別ケアが行われているかどうかを職員同士で声を掛け合いながら取り組む。
- b. 入居者から訴えがあった場合は否定せず、まずは最後まで話を聞く事、
- c. 難しい場合は、別に傾聴する時間と環境を設ける。

**<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。**

1. 部署別方針

- a. 家族との情報共有。

2. 具体的方策

- a. 普段の生活を写真に撮ったり、様子が分かる手紙などを担当が用意しておき、面会時に渡せるようにする。
- b. ケースは、記録担当者以外も、積極的に入力を行うようにする。

<行動理念3.>「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針

- a. 介護知識・技術・思いやり精神の向上。

2. 具体的方策

- a. 研修参加者用のホワイトボードを用意し、誰が何の研修に行くかを事前に分かるようにしておく。
- b. 参加後は、ホワイトボードを活用して、内容や気付きを共有していく。
- c. ユニット独自のミニ研修を委員会メンバーを中心に行っていく。

<行動理念4.>コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針

- a. 物品の節約。

2. 具体的方策

- a. 整理整頓を行い、不必要な物の購入をしない。
- b. 再利用できる物はしっかり再利用し、コストの削減に努める。

<評価>

【ユニット型】

- 利用者の訴えや要望は、職員全体に共有し考え、実現に向けて取り組む事ができた。家族との情報共有は面会時に普段の様子を伝えるように心がけ実施することが出来ているが、職員によって差が生じているため統一した対応が出来るように努めていきたい。
- フロア、居室内の整理整頓が不十分であるため改善したい。

<利用実績>

1) 介護老人保健施設(従来型) 年間目標：稼働率：96%、平均入所者数：48名

	延在籍数	1日平均数 (稼働率%)	平均介護度	退所者数	入所者数
4月	1483	49.4 (98.8)	2.40	3	2
5月	1495	48.2 (96.4)	2.48	3	2
6月	1443	48.1 (96.2)	2.42	5	3
7月	1475	47.5 (95.1)	2.37	2	5
8月	1513	48.8 (97.6)	2.34	4	2
9月	1436	47.8 (95.7)	2.26	4	5
10月	1517	48.9 (97.8)	2.25	3	3
11月	1474	49.1 (98.2)	2.20	4	2
12月	1486	47.9 (95.8)	2.17	2	3
1月	1527	49.2 (98.5)	2.18	2	2
2月	1408	48.5 (97.1)	2.11	5	2

3月	1497	48.2 (96.5)	2.18	1	4
<b>平均 (合計)</b>	<b>17754</b>	<b>48.5 (97.0)</b>	<b>2.28</b>	<b>38</b>	<b>33</b>

2) 介護老人保健施設(ユニット型) 年間目標：稼働率：92.5%、平均入所者数：18.5名

	延在籍数	1日平均数 (稼働率%)	平均介護度	退所者数	入所者数
4月	598	19.9 (99.6)	2.55	1	1
5月	615	19.8 (99.1)	2.48	1	1
6月	600	20.0 (100)	2.50	0	0
7月	617	19.9 (99.5)	2.52	2	2
8月	607	19.5 (97.9)	2.58	1	1
9月	599	19.9 (99.8.)	2.55	2	1
10月	600	19.3 (96.7)	2.52	1	1
11月	588	19.6 (98.0)	2.45	1	2
12月	618	19.9 (99.6)	2.61	2	2
1月	620	20.0 (100)	2.65	2	1
2月	543	18.7 (93.6)	2.79	2	2
3月	591	19.0 (95.3)	2.82	1	2
<b>平均 (合計)</b>	<b>7196</b>	<b>19.6 (98.3)</b>	<b>2.58</b>	<b>16</b>	<b>16</b>

〈評価〉

- 入退所の調整を早期に行い、空床期間を短くすることで稼働率・回転率を向上させることができてい  
る。従来型年間目標稼働率96%に対して97%、ユニット型年間目標稼働率92.5%に対して98.3%と従来  
型、ユニット型ともに目標を上回ることが出来ました。また、従来型は加算型を維持、ユニット型は年  
度途中から強化型に変更することができた。今後も引き続き、医療機関や他事業所への積極的な営業活  
動を行い、多職種と協力しサービスの質の向上、在宅復帰支援の強化を図り、選ばれる施設運営を行っ  
ていきたい。

<年間行事・ボランティア受入実績>

従来型

4月	花見ドライブ
5月	個別行事
6月	鉄板焼フェア
7月	夏祭り

8月	花火大会
9月	敬老会
10月	秋のおむすび会
11月	ナーシングモールで秋の買い物
12月	餅つき 忘年会
1月	新年会「年明けうどん」
2月	節分祭
3月	春のスイーツバイキング

※定期行事

毎週木曜日：おやつ作り  
 毎月第2週火曜日：移動図書館  
 毎月第1火曜日：散髪

ユニット型

4月	花見ドライブ
5月	春祭り
6月	のど自慢大会
7月	七夕まつり
8月	花火大会 夏祭り
9月	敬老会
10月	体メンテナンス会
11月	そば打ち
12月	もちつき
1月	新年会
2月	フリーマーケット
3月	ランチ会

※定期行事・随時開催行事

随時開催：誕生日会  
 毎週木曜日：おやつ作り  
 毎月第2週火曜日：移動図書館  
 毎月第1火曜日：散髪

<研修・会議等参加実績>

外部研修

5月	1名	岡山県老人保健施設協会第1回役員会
6月	1名	岡山県老人保健施設協会第2回役員会
	3名	誤嚥事故予防セミナー
	1名	介護施設における安全対策担当者養成研修
	2名	コーチング研修
7月	1名	岡山県老人保健施設協会第3回役員会
	2名	アテントWEBセミナー
	2名	第1回高齢者ケア等勉強会・多職種交流会
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修
8月	2名	不適切ケアと身体拘束廃止 I
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修役員会
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修
9月	1名	介護報酬改定対応研修
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修役員会
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修
	2名	不適切ケアと身体拘束廃止 II
	2名	認知症ケアのリスクマネジメント
10月	1名	岡山県老人保健施設大会
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修役員会
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修
11月	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修役員会
	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修
12月	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修
	1名	岡山県老人保健施設協会栄養士部会令和5年度研修会
	1名	嚥下調整食の栄養不足とその対応策
1月	1名	岡山県老人保健施設協会感染エキスパート養成研修役員会
	1名	介護事業者のためのBCP作成セミナー
	2名	アテントwedセミナー
2月	2名	学会分類2021（とろみ）と粘度調整のポイントを徹底解説
3月	1名	令和5年度第3回西Aブロック研修会
	1名	令和5年度倉敷市介護保険事業者等連絡協議会第3回研修会
	2名	学会分類2021（食事）を徹底解説
7月-9月	1名	認知症介護実践研修実践者研修
8月-11月	1名	
9月-12月	2名	認知症介護実践研修実践リーダー研修

※全体職員会議：毎月第4木曜日

部署別会議：毎月第1月曜日第3月曜日 ユニット会議：毎月第1金曜日

事故防止・身体拘束廃止・虐待防止委員会：毎月第3水曜日

感染対策委員会：毎月第2水曜日

排泄向上委員会：毎月1回

**<実習生受入実績>**

	学校名・受入人数	実習内容
5月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
6月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
9月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
10月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
11月	岡山医療福祉専門学校 2名	介護福祉実習
3月	岡山医療福祉専門学校 1名	社会福祉現場実習

**<職員採用・退職・異動実績>**

	採用	異動	退職
9月	1日付：医師 1日付：従来型介護員		8日付：従来型介護員 30日付：医師
3月	1日付：従来型介護員		31日付：従来型介護員、 従来型看護師（定年退職）、 リハビリ課長（定年退職）

## 倉敷シルバーナーシングホームデイケア 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

### 『相談員』

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
  - a. ご利用者のニーズに沿ったサービスを提供できるよう調整を行う。
  - b. ご利用者、ご家族、関係機関に対して、気持ちのよい挨拶、対応を実践する。
2. 具体的方策
  - a. 毎日全てのご利用者とのコミュニケーションを図り、個々のニーズや状況の把握に努める。
  - b. ご利用者の要望を第一に考え、ニーズに応えられるような援助方法を考案する。
  - c. 常に快い挨拶ができるよう意識を持ち、送迎時・来館時などに実践する。
  - d. ご利用者やご家族、ケアマネージャー及び他サービス事業者より得られた情報を、日々のミーティング等を通じて、多職種間で共有し、サービスの質の向上に努める。

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
  - a. ご利用者やご家族、地域住民から信頼される施設運営を行う。
  - b. 老健との連携を密に行い、在宅復帰後の受け皿となれるよう努める。
2. 具体的方策
  - a. 居宅事業所への連絡、訪問を定期業務とし、ご利用者について、担当ケアマネと情報共有を図るとともに、福祉ニーズの発掘に努める。
  - b. 老健入所者等、在宅復帰を希望するご利用者について、円滑に在宅復帰を調整できるよう、担当相談員と密に情報交換、情報共有を行う。
  - c. 地域や各関係機関へ行事の案内や広報を行い、地域へ情報を発信する。
  - d. 社会資源の一部として、法人内外の各事業所と連携を行い、サービスの構築を図る。

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
  - a. 内部・外部研修に参加し、専門的知識・技術の習得・向上に努める。
  - b. 職員間の情報共有を密に行い、個々の特性を活かし、相乗効果を高める。
2. 具体的方策
  - a. 内外部の研修へ積極的に参加し、自身の知識・技術の向上を図ると共に、他職員へのフィードバックを行う。
  - b. 多職種間で円滑に情報共有を図れるよう調整を行い、意思疎通を図りやすい職場風土を構築する。
  - c. 資格取得への動機付けや必要に応じた支援を行う。

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

1. 部署別方針
  - a. 稼働率80%を目標とする。
  - b. 法改正の動向に注意し、先を見据えたサービスの構築を目指す。
2. 具体的方策
  - a. 居宅訪問の他、各関係機関との連携を密に行い、新規獲得へのアピール、空き情報の発信を行う。
  - b. 入院者の動向に注視し、長期入院者への適切なアプローチを行い、適切に利用枠を運用できる

よう努める。

- c. 今後の法改正を見据えて、新たな加算取得に向け働きかけを行う。
- d. リハビリの必要性が高いご利用者のサービスを充足できるよう、担当ケアマネジャー等、関係機関への働きかけを行う。
- e. 老健や病院から在宅復帰された方の受け皿となれるよう、定期的に営業活動を行い、潜在的な福祉ニーズの発掘に努める。

#### <評価>

1. 既存のご利用者のみならず、体験利用者、その他、困難案件等について、ケアマネジャーと密に情報共有を行い、粘り強く対応することで、地域の事業所と良好な関係を築くことができた。ただし、新規の事業所等に対して、十分なアプローチを行うことができず、販路拡大は停滞した。
2. クラスター時等、他職種に欠員が生じた際には、相談員が業務の穴埋めを行うことで、サービスの質を落とすことなく、営業を継続することができた。
3. 法改正等、制度理解に努め、必要に応じて、体制の見直しを行うことができた。

## 『リハビリ課』

### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

1. 部署別方針
  - a. ご利用者の機能だけでなく、ご家族等による支援、住環境、今後の変化の可能性等を含め、総合的な評価を行う。
  - b. 在宅生活における身体機能の評価を行い、在宅生活の維持につながる支援を考案する。
  - c. ご利用者の状態やニーズに応じて、リハビリプログラムを考案し、実施する。
2. 具体的方策
  - a. ご利用者及びご家族、関係機関からの情報収集を密に行い、適時、ニーズの確認や目標設定の見直し等を行う。
  - b. 身体及び精神機能・ADL・病状・リスク面等を把握し、プログラムを立案する。
  - c. 適時、自宅訪問を行い、自宅や屋外での機能について評価を行い、必要な支援を考案する。
  - d. 日々のミーティング等を通じて、定期的に他職種との情報交換を行う機会を設ける。
  - e. 介護職との連携を密に行い、個別機能訓練以外のプログラムについて、リハビリメニューの充実を図る。

### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

1. 部署別方針
  - a. チームケアの実践を基本とし、職員間の情報共有だけでなく、家族、関係機関との情報共有も密に行う。
  - b. 実習生の受け入れを定期的に行う。
2. 具体的方策
  - a. 計画書等を用いて、直接的な情報提供を行う他、必要時は相談員を介し、間接的な情報提供を行う。
  - b. 担当者会議など、外部関係者と情報共有できる場へ積極的に参加し、専門職として情報提供を行えるよう努める。
  - c. 老健から在宅復帰する利用者の支援を行う際は、担当療法士との連携を密に行い、入所と通所で、一体的なリハビリを実践する。
  - d. 実習担当教諭との連携を密に行い、後進育成を通じて、地域に利益を還元する。

### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

1. 部署別方針
  - a. 定期的に研修へ参加し、専門職としてのスキル向上に努める。
  - b. 新しい情報、知識、気付き等について、情報共有に努める。
2. 具体的方策

- a. 内部・外部研修に参加し、部署内で研修のフィードバックを行う。
- b. リハビリ職員だけでなく、他職種とも、報告、連絡、相談を密に行う。

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

1. 部署別方針
  - a. 治療機器の整備をこまめに行う。
  - b. 法改正の動向に注意し、先を見据えたリハビリサービスを提供できる体制を構築する。
  - c. 業務全般について、確認、見直しを定期的に行う。
2. 具体的方策
  - a. 治療機器の使用方法を十分に理解し、定期的なメンテナンスを実施する。
  - b. 書類及び実働の流れの確認、見直しを行い、必要時には変更を行う。
  - c. ご利用者のリハビリ満足度を高めると共に、必要に応じてリハビリ体制を見直し、他部署との業務分担を行う。

**<評価>**

1. 自宅訪問等、ご利用者、ご家族と積極的に関わる場面を設け、ご利用者の状態、周辺状況をこまやかに把握することで、個別サービスを的確に提供することができた。
2. デイケア全体のサービスの質が低下しないよう、他職種の業務進捗状況を確認しながら、個別リハビリ等、リハビリ職としての業務を遂行することができた。
3. 体験利用者に対して、専門職としてのアプローチを行うことで、新規獲得率を高めることができた。

## 『介護員』

**<行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。**

1. 部署別方針
  - a. ご利用者と信頼関係を築く。
  - b. ご利用者と積極的にコミュニケーションを取り、個々のニーズを引き出す。
  - c. 気持ちの良い挨拶、気持ちの良い介護を実践する。
2. 具体的方策
  - a. 日々の業務、コミュニケーションを通じて、ご利用者と信頼関係を築き、ご利用者個々の潜在的なニーズを引き出す。
  - b. 挨拶から始まるコミュニケーションを徹底し、丁寧で気持ちのよい介護サービスを提供する。
  - c. ご利用者のニーズに合わせて、希望する活動が提供できるようサービス内容の見直し、調整を行う。

**<行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。**

1. 部署別方針
  - a. ご利用者やご家族、地域住民から信頼される施設運営を行う。
  - b. ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行う。
2. 具体的方策
  - a. ご利用者・ご家族、地域住民など、訪問者に対して、気持ちの良い挨拶、丁寧な対応を行う。
  - b. ご利用者のニーズに応じて、ボランティアの選定、受け入れを行う。

**<行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。**

1. 部署別方針
  - a. 内部、外部研修に参加し、新たな知識、技術、接遇マナーの向上に努める。
2. 具体的方策
  - a. 積極的に研修に参加し、研修後、部署内でフィードバックを行う。
  - b. 気付きを大切にし、積極的、且つ職責を意識した立場での発言が出来るように努める
  - c. 介護福祉士、介護支援専門員等の資格取得に努め、職員個々のスキルアップを図る。

**<行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。**

1. 部署別方針

- a. コスト意識をもって、業務に当たる。
- 2. 具体的方策
  - a. 定期的に備品の使用状況を確認し、無駄のない在庫管理を行う。
  - b. 館内の節水・節電に努める。
  - c. 備品を大切にし、経年劣化を軽減できるよう努める。

<評価>

1. ご利用者、ご家族の要望に対して、迅速且つ柔軟に対応することで、デイケア全体のサービスの質を保つことができた。
2. 職員に欠員が生じた際には、他職種との連携により、適時業務の調整を行い、入浴、レクリエーション等、サービスの質を低下させることなく、業務を継続することができた。
3. 感染症対策継続のため、おやつ作り、カラオケ等を再開することができなかった。

<利用実績・介護保険サービス>

	開館日数	平均利用者	平均要介護度	稼働率(%)
4月	20日	23.50名	1.44	78.3%
5月	23日	23.87名	1.51	79.6%
6月	22日	22.64名	1.57	75.5%
7月	21日	24.19名	1.63	80.6%
8月	23日	16.35名	1.68	54.5%
9月	21日	23.38名	1.61	77.9%
10月	22日	25.73名	1.64	85.8%
11月	22日	26.90名	1.61	88.3%
12月	21日	18.41名	1.74	89.7%
1月	20日	26.00名	1.76	86.7%
2月	21日	24.29名	1.74	81.0%
3月	21日	26.38名	1.77	87.9%
<b>令和5年度実績</b>	<b>257日</b>	<b>24.09名</b>	<b>1.65</b>	<b>80.3%</b>

<評価>

令和5年度の目標値として、稼働率80%、平均要介護度1.35、を設定。春から夏にかけて、新規利用者を継続的に獲得することができていたが、8月に事業者内で新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、大幅に稼働率が低下。クラスター沈静化後、重度要介護者等を含め、積極的に新規利用者の獲得に努めた結果、秋から冬にかけて、短期間で稼働率を上方修正することができた。冬季期間中は、相談案件の減少、既存利用者の利用中止、感染症の蔓延等、稼働率が低下に対してネガティブな影響を与える要因が重なったが、既存利用者の利用日追加等、対策を講じることで、稼働率を維持することができた。年間としては、クラスターの影響を受けつつも、何とか目標値を達成することができた。近年は新型コロナウイルスの蔓延の影響を受け、実績が低迷していたため、一概に比較することは難しいが、昨年度（69.3%）と比べると、実績を改善することができた。令和6

年度については、継続的に新規利用者を獲得し、高い数値で稼働率を維持できるよう、引き続き、関係事業所と良好な関係を維持できるよう努めたい。また、感染症による稼働率低下を最小限に抑えられるよう、感染対策に努め、事業所内での感染症の蔓延防止に努めたい。

#### <主な業務日課>

時間	日課
8:00	申し送り、送迎出発準備、送迎、始業準備
8:30	利用者迎え入れ、バイタルチェック、水分補給、昼食数確認
9:00	個別リハビリテーション開始
10:00	朝の挨拶、入浴開始、個別作業、個別機能訓練
11:45	昼食準備、口腔体操
12:00	昼食介助、排泄介助
13:00	今月の歌、集団リハビリテーション、個別リハビリテーション
13:30	レクリエーション、個別機能訓練、作業療法
15:00	おやつ準備
15:15	送迎前排泄介助
15:30	帰りの挨拶、順次送迎開始、利用者送り出し
15:40	リハビリ会議、カルテ記入、掃除、翌日準備
16:40	ミーティング、運営会議
17:00	終業

\*ミーティング（週1回）、運営会議（月1回）、リハビリ会議（随時）

#### <年間行事・ボランティア受入実績>

	行事計画	ボランティア受入計画
4月	食事イベント「お花見弁当」	
5月	バーベキュー大会	
6月	食事イベント「お好み焼き」	
7月	夏祭り	
8月	食事イベント「そうめん、天ぷら」	
9月	敬老会	
10月	食事イベント「アイスフィンク」	

11月	食事イベント「寄せ鍋」	
12月	クリスマス会、もちつき	
1月	食事イベント「松花堂弁当」	
2月	節分祭	
3月	食事イベント「魚解体ショー」	

<毎月定期の行事>

誕生日会、おやつ作り

<毎週定期の行事>

集団レクリエーション（タオル体操、棒体操、リング体操）

<研修・会議等参加実績>

	所内研修・会議計画	防災計画	福利厚生計画
5月	事故防止		
6月	感染症対策（食中毒）		健康診断
6月	感染症対策（新型コロナ等）		制服貸与
7月	高齢者虐待・権利擁護		
7月	法令遵守・職業倫理		
9月	個人情報保護	消防設備点検	
9月	身体拘束廃止		
10月	身体拘束について	避難訓練	インフルエンザ予防接種
10月	緊急時の対応		
11月	認知症ケア		
11月	感染症対策（嘔吐処理）		
12月	認知症勉強会	避難訓練	
3月		消防設備点検	

<職員採用・退職・異動実績>

	採用	異動	退職
1/10			介護補助員

# 令和5年度

## 事業報告書

社会福祉法人 鷺山会

- 介護老人福祉施設  
特別養護老人ホーム 岡山シルバーセンター
- 通所介護事業所  
岡山デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所  
岡山シルバー在宅介護支援センター
- ケアハウス  
ゆうステイ岡山

## 特別養護老人ホーム 岡山シルバーセンター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### 「相談、事務、栄養課」

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者・ご家族と密に連携を図り、ニーズの把握、問題解決に努める。
- b. ご利用者が「ひと、かがやく生活」を行うためにどのような支援が必要かを把握し、ケアプランに反映する。
- c. 経口維持への取り組みを強化し、口からの食事摂取の継続に努める。
- d. 他職種連携によりターミナルケアと認知症ケアの充実を図る。
- e. 福祉用具を積極的に取り入れ、利用者の状態に適した介護の提供をする。

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 地域の方に対して、介護の相談役として援助し、住み慣れた環境で生活し続けられる支援を行う。
- b. 外部の方の活躍の場として、地域のボランティアや実習生などの受け入れをする。

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 職員間でのスムーズな連携、チームワークの円滑化を行う。
- b. 職員の離職を減らす努力を行う。
- c. 福祉用具を活用し、介護の負担を軽減する。
- d. ターミナルケアや認知症ケア、自立支援への積極的な取り組み
- e. 適切なケアや接遇マナーを身につける為の職員教育、環境作りを行う。

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 安定した稼働実績を確保する。
- b. 待機者情報の把握を行い、入所へのスムーズな移行を行う。
- c. コスト面の見直しを図り、経費削減を行う。

### <評価>

- 特養+短期で実績目標を達成した。一方で、年々特養ご利用者の在籍期間が短くなっている。特養の性質上、重度者の入所希望が多い事や、延命を望まない社会的な流れなどが要因と考えられる。安定的な実績確保のためには、在籍者とのバランスを考慮して新規入所者を決定する必要がある。また、体調管理のための医療連携強化も課題である。
- 令和5年度下半期に接遇や介助内容に関する苦情が3件発生した。権利擁護、認知症理解についてより実践的な研修機会が必要と感じている。施設全体で改善に取り組む必要がある。
- 令和5年2月から3月に掛けて37名が感染する大規模クラスターを発生させてしまった。期間中の実績低下や感染物品の大量消費が避けられなかった。
- 食事形態が常食に近く自力摂取をされるご利用者が多く入所されたため、経口維持加算算定者が減少した。
- 委託給食会社と連携を取り、食事摂取量が少ないご利用者に対して特別食を提供した。経口栄養補助食品を活用し、食事の経口摂取が維持できた。
- コロナ禍においては、食事の配膳時間の調整や Disposable 食器の使用により、介護業務の負担軽減に貢献した。

## 「看護課」

### ＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者の声に傾聴し、共感的態度・声掛けに心がけます。
- b. ご利用者の個人情報の管理とプライバシーに配慮した看護ケアを行います。
- c. ご利用者の望む尊厳ある施設看護の提供を行います。

### ＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 新規ご利用者の調査に参加し、必要な情報を得ます。
- b. 感染症流行の状況を把握し、感染防止に努めます。
- c. 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携・情報共有を行います。

### ＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 入所者の心身異常や病状の変化を察知し、配置医と連携を図ります。
- b. ターミナルケアや認知症ケア、自立支援へ医療面からの支援します。
- c. 自己学（研修参加）など知り得た情報を日々の看護に活かします。

### ＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. ご利用者、ご家族の希望に沿った医療ケアが行えるよう入院者減少に多職種との連携を行います。
- b. 衛生材料を適切に選択・工夫を図ります。
- c. 節電・節水を常に意識します。

### ＜評価＞

- ご利用者に対してやさしい声掛けやターミナルケア時には尊厳ある看護が提供でき、配置医とも連携を取り感染状況の傾向等の把握を努めた。コロナ・インフル感染時は他職種、医務内との連携、感染防止、衛生材料等にも工夫を図り適切な使用ができた。

## 「介護課」

### ＜行動理念1.＞ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. ご利用者の立場に立つ事を第一優先とし適切な声掛け、ケアの提供に努めます
- b. 高齢者介護のプロとしてご利用者の思いに親身に寄り添い安心してご利用頂き、愛される施設を目指します。
- c. 生活の場として適切な関わり、コミュニケーション技術の展開

### ＜行動理念2.＞地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 多種多様なニーズに適応し地域福祉に貢献します

### ＜行動理念3.＞「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 外部研修・所内研修の場を現場に活かし、ケアの充足を図る
- b. 各委員会がそれぞれが自発的にスキル向上の為、目標を立て現場を活性化する
- c. ご利用者目線での介護を行い、不適切ケアをゼロにする
- d. ターミナルケアや認知症ケア、自立支援への積極的な取り組み
- e. 個々の状況・状態把握に努め、統一したケア、職員間でのスムーズな連携、チームワークの円滑化を行う

### ＜行動理念4.＞コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. サービスの質を落とすことなく、無駄遣いを控える
- b. 安定したサービス提供を維持する

### ＜評価＞

- ターミナルケア対象者に対しての接し方、対応の仕方を多職種共同で行い、1人1人のケアが終わる度に改善を重ね、利用者様1人1人との関わり方を考えることができた。
- 感染症対応の為、閉鎖された時期が長く、接遇面での質が落ち、不適切ケア防止の意識が薄れ、不適切な言動が増えた。今後、所内研修や個々が注意や指導ができる環境づくりが必要である。

## 「感染症対策委員会」

### <鷺山会感染症、食中毒の予防・蔓延防止に関する基本理念>

#### 1. 基本理念

- a. 社会福祉施設には、感染症等に対する抵抗力が弱い高齢者が生活する場であり、こうした高齢者が多数生活する環境は感染が広がりやすい状況である事を認識しなければならない。このような前提に立って施設では、感染症・食中毒を予防する体制を整備し、平素から対策を実施するとともに、感染予防、感染症発生時には多職種協働にて迅速かつ適切な対応に努める必要がある。

#### 2. 感染症対策施設方針

- a. 岡山シルバーセンターは、新型コロナやインフルエンザ等の感染症や食中毒の発生、蔓延防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「感染症対策委員会」を設置、施設全体でこの事に取り組む事とする。

#### 3. 委員会具体的方策

- a. 標準時には感染症対策委員会を1回/月開催し、委員会メンバーにて感染症の情報の共有を実施、委員会メンバーより担当部署職員へ情報の伝達と日々の対策を徹底する。
- b. 感染症対策標準予防策「スタンダード・プリコーション」を徹底すべく、2回/年、所内研修を実施する事で直接処遇職員の感染予防技術の底上げに努める。また、新人職員採用時は新人研修時に指導を行う。
- c. 職員出勤時には体調確認表を活用しウイルスを施設内に持ち込まないよう徹底する。

### <評価>

- 令和5年度は感染対応がコロナ対応が3度・インフルエンザ対応が1度ありました。
- 2月に発生したコロナでのクラスターは累計37名（職員9名+利用者28名）の感染者がでた。2ヶ月の感染対応で、ご利用者は隔離期間が長期化し不自由な生活を強いられ、職員は肉体的、精神的に疲弊することになった。
- 今後も感染症を持ち込まない、感染者がでた場合は感染拡大を防止する為、早期の対応が重要である。

## 「安全対策委員会」

### <鷺山会介護事故防止のための基本理念>

#### 1. 基本理念

- a. 介護事故はちょっとした不注意で発生する。私達は介護・看護のプロとして介護事故を最小限に抑え、一度発生した介護事故は二度と起こさないようにしなければならない。「ひやり・はっと報告書」「介護事故報告書」を分析する事で対処、研究を常に図り、ご利用者、ご家族に安心して施設をご利用いただけるよう細心の注意を払い、介護事故の減少に最大限の努力と対処を行う。

#### 2. 安全対策施設方針

- a. 介護事故防止に取り組むにあたっての基本理念を理解し「安全対策委員会」を設置、運営することで施設全体でこのことに取り組む事とする。
- b. リスクマネージャーを配置し館内の安全点検、ひやり・はっと、介護事故の発生傾向調査、発生防止のためのルールを遵守できているか否かの確認を行う事で、リスクマネジメントの取り組みを行う。

#### 3. 委員会具体的方策

- a. 「介護事故防止」に関する研修会を2回/年、実施する。
- b. 新人職員採用時は新人研修時に「介護事故防止」に関する指導を行う。
- c. 介護事故を防止するため毎月1回以上「安全対策委員会」を開催し、介護事故の未然防止についての対策を講ずる。
- d. 毎月、特養ミーティングにて全職員に対し、発生した事故報告と安全対策委員会で検討した内容を詳しく報告し、介助方法の統一を図る。

- e. 事故報告書の定期的な集計と分析結果を全職員に周知させ、事故を未然に防ぐツールとして活用する。集計結果を家族会にて報告し施設の透明性を図る。

#### <評価>

- 一年を通じて誤薬事故への対策を強化した年度であった。誤薬予防の取り組みは現在進行形で継続中であり体制整備に繋がった。
- 令和4年度同様、感染対策と事故予防の両立に課題を残した。クラスター発生時には転倒事故が増加し、複数の骨折事故が発生した。
- 令和5年度の事故の特徴として、原因不明の外傷が増加した。これも感染対応により外傷の発見が遅れることによる要因が大きい。詳細を説明できない外傷はご家族に不安を与え、施設の体制に不信感を抱かせる原因となり得るため、早期発見・報告が求められることを事業所内で共有する。

### 「身体拘束廃止委員会」

#### <鷺山会身体拘束廃止のための基本理念>

##### 1. 基本理念

- a. 身体拘束は、ご利用者の生活の自由を制限することであり、ご利用者の尊厳ある生活を阻むものである。当法人ではご利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人一人が身体的、精神的弊害を理解し、身体拘束廃止に向けた意識を持ち、身体拘束をしないケアの実施に努める。

##### 2. 身体拘束廃止施設方針

- a. 身体拘束の廃止に取り組むにあたっての理念を理解し「身体拘束廃止委員会」を設置・運営することで施設全体でこのことに取り組むこととする。
- b. 豊かで、安全、安心できる快適な生活を送れるために、ケア全体を見直し、緊急やむを得ない場合は適切な手続きのもと慎重に判断し身体拘束ゼロを目標とする。
- c. 施設広報誌に掲載し、情報開示に努める。

##### 3. 委員会具体的方策

- a. 身体拘束を廃止、防止するため年4回「身体拘束廃止委員会」を開催し、身体拘束ゼロを目指す。但し、身体拘束対象者が在籍する場合には月2回以上開催し、身体拘束の廃止を図る。
- b. 緊急やむを得ない判断は「施設長」の最終判断でのみ決定し、ご利用者本人、ご家族に大して詳細に説明し文章にて同意を得る。また緊急やむを得ず身体拘束を行う場合でも、常に観察、再検討し、要件に該当しなくなった場合は直ちに拘束を解除する。
- c. 身体拘束についての全職員を対象とした研修を年2回行い、ご利用者の安全と尊厳を守る事について共通の理解を得る。
- d. 不適切ケアチェックを年2回実施し、課題の可視化と改善を図ります。

#### <評価>

- 身体拘束ゼロの目標を達成した。
- 身体拘束の必要性について、個人で判断せずチームで運動して取り組むよう意識付けることができている。
- 身体拘束と高齢者虐待および不適切ケアとの関連性について、より身になる研修の開催に力を入れる必要があると感じている。

## 「食事委員会」

### 1. 年間目標

- a. ご利用者のニーズに合った楽しく安全な食事の提供とその環境設備

### 2. 委員会具体的方策

- a. 年間行事、季節に即した食事イベントの計画、開催をする。
- b. 食事形態、食事用具、食事姿勢などの内容を見直す。
- c. 職員の手本になるような食事介助技術の習得、発信をする。

#### <評価>

- 席替えや机の配置変更を積極的に行い、ご利用者のニーズに合った安全な食事を提供できていた。
- 年間行事や季節に即したイベントの計画はできたがコロナやインフルエンザで開催できなかった物があった。
- 食事形態、食事用具の見直しをその都度行うことができた。
- ご利用者に合った、食事介助技術の習得に努めることができていた。
- 研修等を行い、食事介助技術の向上を全職員ができるようにした方がより良かった。

## 「入浴委員会」

### 1. 年間目標

- a. 安全・安心に入浴してもらえるような介助の提供
- b. 季節感を感じて頂けるように配慮した入浴の提供

### 2. 委員会具体的方策

- a. 利用者の身体状況に合わせ入浴方法の見直しをこまめに行う
- b. 変わり湯を行なうと共に装飾や飲料の提供

#### <評価>

- ご利用者の体調に合わせて柔軟に対応できた。入浴に当たる職員もその都度、利用者の体調を考えて対応してくれた。
- 定期的に変り湯や浴室の装飾を行い季節感を感じて頂けたと思うが、以前に比べ変わり湯の提供を少なくしたので少し物足りない感じがした。
- 利用者の状態に合わせ、入浴方法をその都度変え対応できたが、入浴日にかたよりができ、入浴時間が延びる事があった。職員不足で苦労することがあった。
- 変わり湯は定期的に行い（菖蒲・柚等）好評だった。
- 水分提供はご利用者が日頃飲めない炭酸飲料など提供し喜んで頂けた。

## 「排泄委員会」

### 1. 年間目標

- a. 個人個人にあったパットの見直しを定期的に行う。
- b. 介護員・看護師・管理栄養士が情報共有を行い、協力して排便コントロールへのアプローチを行う。
- c. 感染症防止の為、排せつ介助時には予防対応を徹底する。
- d. オシメやパットへのコスト意識を高め、無駄の無い使用を心掛ける。

### 2. 委員会具体的方策

- a. パット表の見直しを定期的に行う。
- b. 排泄パターンを確認し、排便の状態に応じて下剤の調整を行う。
- c. 使い捨てエプロンの着用、空気の入替え、消毒等を徹底する。
- d. コストへの意識を向けていくよう委員会から提案していく。

#### <評価>

- コロナ対応期間後、パットの見直し等、迅速に見直しが出来ていない事があった。
- コロナ時、排泄委員会が同階に集まった事で委員の居ない階での下剤調整が出来ていない事があった。コロナ期間が長期化した場合は下剤調整の確認の為、他階の情報収集を怠らない様に注意する。

- 空気の入替え、消毒が出来ていない事があり、他職員に対し注意喚起する事があった。
- コロナ後の対応が抜けきらず、大きめのパッドを使用したり、オシメの汚染を確認せずに破棄する職員が増加してしまった。連絡事項での呼びかけや注意喚起で対応する事があった。今後も注意して無駄使いが無い様に対応していく。

## 「行事委員会」

### 1. 年間目標

- a. 季節にあった行事を行い、ご利用者に四季を感じていただく。
- b. 生活にメリハリを作っている。
- c. 行事ごとに装飾を行い、目でも楽しんでもらう。
- d. 行事への期待感を持っていただく。

### 2. 委員会具体的方策

- a. ご利用者の要望に応えられるよう、しっかりとご利用者の意見を取り入れる。
- b. ご利用者、ご家族、職員、一緒になって盛り上げられる行事を計画する。

#### <評価>

- それぞれの季節に合わせ行事を行うことができた。しかし、感染対応もあり、行事、余暇活動が思うようにできなかった。
- 生活にメリハリをつけて頂けるようにいきたい。
- 季節に応じて装飾等の変更を行うことができ、少しでも楽しんで頂けたのではないかとと思う。
- ご利用者からの外出希望はあったが、感染対応もあり、実施できなかった。
- ご利用者からの聞き取り等不十分だった点がある。今後はしっかり聞き取りを行い、それらを反映し、ご利用者に還元していきたい。
- 感染対応もあり、ご家族も参加して頂く機会がなかった。
- 今後は外出時には感染対応をご家族にも声掛け参加や余暇時には参加してもらえる時間を作ってきたい。

## 「サービス向上委員会」

### 1. 年間目標

- a. 適切な介護を常に提供する
- b. 職員の接遇に対する意識を高める。
- c. ご利用者からの要望に応えられる体制作り。

### 2. 委員会具体的方策

- a. サービス向上や接遇意識の向上に対する啓発活動を行う。
- b. サービス向上を意識できている職員に対して表彰する。
- c. ご利用者やご家族からの意見や要望を傾聴する。

#### <評価>

- 感染症の対応期間が長期間になるにつれ、適切な介護への意識が薄れていた。
- 今後はご利用者やご家族の意見や要望をこまかく聞き取り、対応できる体制づくりが必要だと感じている。

<利用実績>

2023年度：特養48人+短期15.0人=63.0人（90.0%）目標

合算	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均人数	60.6	63.4	63.4	62.3	64.8	65.0	64.9	66.2	64.8	62.0	59.8	60.7	63.2
稼働率	86.5	90.7	90.6	89.0	92.6	92.9	92.7	94.5	92.6	88.7	85.5	86.7	90.3

特養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	47.2	47.3	48.0	46.3	48.0	49.1	49.3	49.2	49.4	46.9	46.8	46.7	47.8
介護度	3.86	3.86	3.88	3.86	3.83	3.78	3.76	3.74	3.74	3.77	3.73	3.73	3.8
入院	105	68	110	94	46	4	37	28	16	62	48	51	669
稼働率	94.4	94.5	96.0	93.0	96.1	98.3	98.7	98.4	98.8	93.9	93.5	93.4	95.7

短期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	13.4	16.2	15.4	16.0	16.8	15.9	15.6	17.0	15.4	15.1	13.1	14.0	15.3
介護度	3.8	3.1	3.0	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.2	3.2	3.0	3.1	3.2
稼働率	67	80.1	77	80	84	79.5	77.9	85.0	77.2	75.6	65.7	70.0	76.7

<評価>

- 特養は新規入所22名 退所23名  
 コロナ対応時にスムーズな受入れ業務が困難で実績が目標に及ばなかった。ショートステイは、感染症対応時に大幅に実績低下あるも、感染症対応時以外は順調に実績を延ばすことができた為、目標を達成することができた。特養+ショートは目標達成することができた。近年は、特養の入れ替わりが激しくなっている傾向がある為、待機者確保や受入れをスムーズに行う努力が必要である。

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事計画	ボランティア受入計画
4月	12日 炊き込みご飯作り 19日 フルーツサンド作り 19日、22日、30日 外出	15日 清掃
5月	14日 だら焼き作り 21日 外出 27日 お好み焼き作り	20日 清掃
6月	1日、4日 外出 28日 アイスクリームフェア	24日 清掃
7月	2日 七夕 26日 かき氷フェア	15日 清掃

8月	16日 物故者供養 24日 花火大会 30日 たこ焼き作り	19日 清掃
9月	6日 ステーキフェア 10日 誕生日食事会	30日 清掃
10月	11日 クッキー作り 25日 外出 29日 ハロウィン	21日 清掃
11月	15日 プリの解体ショー 19日 敬老会 23日 炊き込みご飯作り	16日 中学生職場体験 25日 清掃
12月	6日 たこ焼き作り 17日 クリスマス会 24日 ランチバイキング 25日 ケーキバイキング	16日 清掃
1月	1日 お屠蘇 21日 百寿記念祝賀会 24日 書初め 28日 豚汁作り 31日 節分祭	20日 清掃
2月	4日 太巻き作り 14日 バレンタインスイーツ作り	17日 清掃
3月	20日 筍ご飯作り	23日 清掃

#### <研修等参加実績>

	研修・会議の名称
4月	新規学校卒業就業者歓迎大会（介護員 1名）
5月	くらしき作陽大学講師派遣（管理栄養士 1名） 5類移行後の対応研修（役職者 5名）
6月	コーチング研修（介護員 1名） 次世代委員会総会・セミナー（次長 1名） キャリアパス初任者コース（介護員 1名）
7月	介護支援専門員更新研修（相談員 1名） 睡眠マネジメント（看護師 1名・介護員 1名）
8月	特定給食施設関係者研修会（管理栄養士） BCP作成研修会（相談員 1名） キャリアパス中堅コース（介護員 1名） 中国地区老人福祉施設研修大会（相談員 1名）
9月	中堅職員重点テーマ強化研修（介護員 1名） チームリーダー重点テーマ強化研修（看護師 1名） 給食施設従事者研修（管理栄養士）

10月	山陽学園短期大学講師派遣（管理栄養士） 安全運転管理者等法定講習（次長） リスクマネジメント研修（介護員2名・相談員1名） 歳末助け合い美術展（次長）
11月	BCP策定支援研修（次長） 感染症予防対策研修会（相談員1名） くらしき作陽大学講師派遣（管理栄養士） 備中保険所管内給食施設管理者研修会（管理栄養士）
12月	カスタマーハラスメント対策研修会（相談員1名） ノートルダム清心女子大学特別講義講師（管理栄養士）
1月	業務継続計画セミナー（相談員2名） 介護支援専門員実務研修（介護員1名） 岡山県立大学臨地実習報告会（管理栄養士） 能登半島地震の発生に伴う介護職員等の派遣（相談員1名）
2月	中国短期大学卒業研究発表会（介護員1名） 介護支援専門員実務研修（介護員1名） 能登半島地震災害派遣（管理栄養士） 社会福祉主事資格認定通知課程（介護員1名）
3月	介護支援専門員実務研修（介護員1名） 岡山県老人福祉施設協議会第2回総会（部長） 岡山市集団指導（相談員2名）

<実習生受入実績>

	学校名・受入人数	実習内容
4月		
5月		
6月		
7月	山陽学園短期大学 4名	給食管理校外実習
8月		
9月		
10月	中国短期大学 1名	介護実習
11月	中国短期大学 1名 山陽学園短期大学 4名 岡山県立大学 4名	給食管理校外実習
12月	くらしき作陽大学栄養学科 3名	給食経営管理実習
1月		
2月		
3月		

<職員採用・退職・異動実績>

- ・介護員4名採用（4/1付2名、5/1付1名、11/1付1名）
- ・看護師パート1名採用（4/1付）
- ・介護員1名異動（12/1付：岡山シルバーデイサービスセンターへ）

## 岡山シルバーデイサービスセンター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- ご利用者の不安や寂しさの思いを感じ寄添います
- ご利用者との関わりを増やし、誠実な対応を行います
- ご利用者の日々の変化に注意し、変化を見逃さぬよう努めます
- ご利用者が在宅生活を継続できるよう、能力に応じた支援をおこないます

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- 地域住民・居宅事務所・包括支援事務所・医療機関等との連携計り迅速な対応を行います（居宅支援の協力、情報提供、迅速なサービス調整を行います）
- 積極的にご家族と情報交換・共有を行い、安心してご利用いただける事業運営に努めます（満足度調査の実施と、現場へのフィードバック・ご家族への情報提供と提案）
- 地域との交流機会を大切にし、事業所の認知度・信頼感を高めるよう努めます（地域へ訪問を行い、施設周知に努め、地域の催しに積極的に参加する）
- 常日頃より施設職員としての自覚を持ち行動し、信頼が得られるよう努めます

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 職員間のコミュニケーションを大切にし、立案・問題提起が行える環境を整えます
- 定期的な勉強会、職員相互での指示・指導を行い、職員全体の知識・技術の向上に努めます
- 自身で考え、判断が行えるよう意識し日々の業務に取り組めます
- 日々の業務、研修で得た知識を活かし、自ら成長・スキルアップする意識を持って取り組みます

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 安定したご利用者獲得に努め、利用実績の向上に繋がります（新規利用、体験、見学、相談等速やかな対応・周辺居宅へのアプローチ）
- 法人内での連携を高め、サービスの質、業績の向上に努めます
- それぞれの職種でご利用者の満足度を高める認識を持ち業務を行います
- 物品を大切に扱い、不要な物品購入を控えます

### <評価>

- ご利用者の思いを大切にし、小さな変化にも目を向けることができた
- ご利用者の増加、職員不足により、関わる時間が減少したため業務改善をおこなった
- ご家族との情報交換を行うことで、安心してご利用いただける環境作りが行えた
- 課題に対し職員間で話し合い、迅速に対応する機会が増えた
- 自身の技術、知識を見直す時間、勉強会等が満足に行えていないため改善する
- 他事業所との情報共有を行うことで迅速な対応が行えた

### <利用実績>

	開館日数	平均利用者数	平均介護度	稼働率(%)
4月	25	30.0	1.8	76.9
5月	27	30.0	1.8	76.9
6月	26	29.7	1.8	76.1
7月	26	30.1	1.9	77.1
8月	26	28.8	1.9	73.8

9月	26	30.7	1.9	78.7
10月	26	30.4	1.9	77.9
11月	26	30.1	1.8	77.1
12月	26	30.5	1.8	78.2
1月	24	25.1	1.8	64.3
2月	25	29.0	1.8	74.3
3月	26	29.2	1.8	74.8
平均(合計)	25.75	29.4	1.8	75.5

<評価>

- 前年度を土台に実績好調も、8月、R6/1月とコロナ罹患者出現みられ、特に1月は事業所内でも感染拡大し利用控えもあり実績顕著に低下しておりました。その後徐々に回復も感染症拡大前の水準に回復しておりません。職員欠員に伴う受入れ休止期間もあり実績回復が鈍化しておりますが、令和5年度目標27.7名/日は達成できました。継続的な新規ご利用者の獲得・追加利用調整が行えておりますが、体調不良等による入院・利用頻度の高い方の利用中止もあるため、より積極的な新規ご利用者の獲得が令和6年度目標(33.0名/日)達成に必須です。

<年間行事・ボランティア受入実績>

	行事計画	ボランティア受入報告
4月	・お花見弁当・春のデザートバイキング・空き缶コロコロ・ゴムぱっちんゲーム・花咲かせゲーム・魚釣りゲーム・	・休止
5月	・兜釣りゲーム・にわとりパニックゲーム・お好み焼きゲーム・フライバスターズ・父の日、母の日・壁面装飾	
6月	・ボーリング・おいでおいでゲーム・タケノコ堀りゲーム・コロコロボール・お手玉シュート	
7月	・おにぎりバイキング・演芸ショー・たこ釣りゲーム・うちわ作り・テーブルレク・金魚すくいゲーム・七夕短冊作り・射的ゲーム	・劇団『潮風』
8月	・夏の歌謡ショー・射的ゲーム・ペットボトルバッティング・太巻きゲーム・うさぎが飛んだゲーム・つるつるつるーリング・栄養ワンダー2023	
9月	・ステーキフェア・輪投げ・お好み焼きゲーム・空き缶コロコロ・敬老会記念式典・にわとりパニックゲーム	
10月	・フライバスターズ・巻き巻きゲーム・秋季大運動会・テーブルレク・スカットボール	
11月	・栗拾いゲーム・タケノコ堀りゲーム・	

	おいでおいでゲーム・たこ釣りゲーム・ピンポン玉ゲーム・焼き芋・館内喫茶	
12月	・館内喫茶・射的ゲーム・餅つき・クリスマスケーキ・にわとりパニックゲーム・ゴールデンPK・忘年会・ボウリング	
1月	・空き缶コロコロ・魚釣りゲーム・お手玉シュート・巻き巻きゲーム・絵馬制作・新年会・書初め	
2月	・節分際・恵方巻ゲーム・フライバスターズ・うさぎが飛んだゲーム・スカットボール・ステッカー制作	・手芸ボラ『板野』
3月	・お魚解体ショー・コロコロゲーム・お好み焼きゲーム・ひつつきもつつきゲーム・ひな祭り・つるつるつるーリングゲーム	

#### <研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者氏名（所内研修の場合は人数）
4月	・ギャジアップについて	・9名
5月	・感染症対策	・10名
6月		
7月	・防災について	・9名
8月	・褥瘡予防	・4名
9月	・一次救命処置	・4名
10月		
11月		
12月	・高齢者虐待防止・権利擁護	・2名
1月	・お客様満足度アンケートより	・10名
2月	・感染症対策	・9名
3月	・集団指導	・1名

#### <職員採用・退職・異動等>

- ・介護員3名採用（5/1付パート1名、5/8付パート1名、9/1付1名）
- ・介護員1名異動（12/1付：岡山シルバーセンターより）
- ・看護師1名採用（9/1付）
- ・介護員3名退職（10/19付1名、12/31付2名）
- ・看護師1名退職（5/31付）
- ・運転員1名採用（12/1付）

## 岡山シルバー在宅介護支援センター 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- a. 多様な社会資源の中からご利用者・ご家族の意向や思いに沿ったサービスの選択が行えるよう、また、利用者が最期まで自分らしく暮らせる為の意思決定ができるよう支援する。
- b. 継続的なマネジメントを実施し、ご利用者の自立支援・ご家族の支援を行う。
- c. ご利用者・ご家族に対し、やさしい声かけ・挨拶・態度で接する。
- d. ご利用者・ご家族が、苦情・要望等について遠慮なく言えるような信頼関係を作る。

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- a. 住み慣れた地域で安心して、自分らしい生活が送れる様に地域や各関係機関との連携に努める。
- b. 特定事業所として、地域ケア会議への参加や地域包括支援センター・地域団体等との連携を密にし、問題解決や対応が速やかに出来る様に努めます。
- c. ご利用者様の人権擁護、虐待防止等の為に、発見時には速やかにしかるべき機関へ通報、対処する。

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- a. 内部・外部研修へ積極的に参加し、自己研鑽の場を作る。
- b. 職員間での情報交換し、個々の対応に必要な知識・技術の共有をする。
- c. 感染症対策の徹底「感染しない」「感染源にならない」「高齢者を守る」
- d. ICTの活用による研修会等の参加を行い、情報交換や新たな情報収集を行う。

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- a. 特定事業所として安定した顧客の確保を図る。（介護110件・予防15件）を目標に設定）
- b. 地域包括支援センターや他事業所や地域の病院との連携を密に行い、新規利用者の獲得に努め、法人全体の業績アップを目指す。
- c. 消耗品の無駄遣いをなくし、経費削減に努める。

### <評価>

・ご利用者・ご家族のご意向に沿ったサービス選択が行えるよう、丁寧にわかりやすく説明し、できるだけ納得して意思決定ができるように対応を行う事ができた。

・顧客の新規獲得がスムーズに行えた事で、目標実績を達成できた。

### <利用実績>

	要介護請求数	要支援請求数	稼働率
4月	107	18	82.8
5月	109	18	84.2
6月	110	19	85.3
7月	111	18	85.7
8月	114	18	87.8
9月	114	19	88.2
10月	112	20	99.2

11月	129	33	103.9
12月	133	38	108.5
1月	140	36	112.8
2月	140	36	112.8
3月	139	42	114.2
平均数	121.5	26.2	96.1

<評価>

- R5年度11月より職員2名新規採用となり、支援、介護の受け入れ枠を広げ新規顧客の獲得がスムーズに行えた事により、目標稼働率を上回る実績を上げる事ができた。今後も継続して新規顧客確保が行えるよう努める。

<研修・会議等参加実績>

	研修・会議の名称	参加者
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議（月1回）</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・高齢者虐待防止研修</li> </ul>	1名
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・所内研修（高齢者虐待防止）</li> <li>・居宅介護支援事業所管理者研修</li> <li>・介護支援専門員専門研修Ⅰ</li> </ul>	1名 1名
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・岡山県介護支援専門員協会岡山支部北エリアと北区北地域包括支援センター合同研修会</li> <li>・岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会総会及び第1回研修会</li> <li>・介護支援専門員専門研修Ⅰ</li> </ul>	1名 1名 1名
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・介護支援専門員専門研修Ⅱ</li> </ul>	1名
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・主任ケアマネ委員会 第1回研修会</li> <li>・介護支援専門員専門研修Ⅱ</li> <li>・所内研修（アセスメント）</li> </ul>	1名 1名

9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会第2回研修会</li> </ul>	1名
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・岡山県介護支援専門員更新研修</li> <li>・岡山県介護支援専門員実務研修実習指導者研修</li> <li>・ケアマネジメントセミナー</li> <li>・日本介護支援専門員協会 R5年度中国ブロック研修大会 岡山県介護支援専門員協会 第4回ケアマネジャー大会</li> </ul>	1名 1名 1名 2名
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・要介護認定調査員 新規研修</li> <li>・岡山県介護支援専門員協会岡山支部北エリアと北区北地域包括支援センター合同研修会</li> <li>・介護予防支援・介護予防マネジメント研修</li> <li>・所内研修（高齢者虐待防止）</li> <li>・所内研修（カスタマーハラスメント）</li> </ul>	1名 1名 1名 1名
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・第2回岡山支部自主研修</li> </ul>	1名
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・主任ケアマネ委員会 研修会</li> <li>・岡山市居宅介護支援事業者連絡協議会第3回研修会</li> <li>・BCP策定研修会</li> <li>・他法人との研修会</li> </ul>	1名 1名 2名
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅定例会議</li> <li>・居宅定例ミーティング（週1回）</li> <li>・岡山エリア連絡会議</li> <li>・集団指導</li> <li>・所内研修（BCP作成）</li> </ul>	1名

<職員採用・退職・異動等>

- 介護支援専門員2名採用（11/1付）

## ケアハウス ゆうステイ岡山 令和5年度事業報告書

### <基本理念>

#### 「ひと、かがやく介護」

「ひと、かがやく介護」とは、全ての人が自分らしく暮し、自分らしく生きることのできる介護を提供することです。

#### <行動理念1.> ご利用者の思いを大切に、やさしさと愛情を持って接します。

- 明るい挨拶、優しい声かけをするとともに、各ご利用者の体調面、精神面の状態を把握する。
- 体調不良時には、本人の状態を速やかに把握し、主治医、ご家族と連携を取りながら、適切に対応する。

#### <行動理念2.> 地域ニーズを理解し、地域に求められる福祉を提供します。

- ご利用者の抱える課題解決にむけて、担当ケアマネージャーと連携を図り、在宅福祉サービスの導入と地域資源の活用を行う。

#### <行動理念3.> 「知識・技術・思いやり」を身につけた職員の育成を行います。

- 職員間での情報共有を行い、ご利用者の状態の把握と課題・要望への解決に取り組む。
- 所内研修、外部への研修会に積極的に参加し、得た情報を職員間で共有する。
- 職員間で適切な時期に感染症予防・事故防止等の所内研修を行い、予防に対し周知徹底を図る。また、ご利用者へも予防の徹底を呼びかける。

#### <行動理念4.> コスト意識を高め、持続可能な施設経営を行います。

- 節水、節電を心がける。また、消耗品の無駄遣いをなくす。
- 入居待機者確保のため、併設事業所、他事業所・医療機関への空室状況等の案内を行い、月初めの満室状態を維持出来るように努める。

### <評価>

- 毎日訪室し、安否確認とともに体調面、精神面の状態把握とサポートに努めることができた。
- 職員間だけに限らず、担当ケアマネージャー、他事業所との情報共有、連携を図り、ご利用者の課題・要望への解決につなげることができた。
- 月初めの満室は維持できたものの、入居待機者の確保、特にご夫婦での入居希望者の確保に努める必要がある。
- コスト意識を持って節水、節電に積極的に取り組むことができた。

### <利用実績>

2023年度：22.0人（95.65%）目標

ケア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21.6
稼働率	95.6	95.6	95.6	95.6	95.6	95.6	95.6	95.6	91.3	91.3	91.3	91.3	94.2

### <評価>

- 令和5年度は、2つの夫婦部屋を単身で使用されるようになった為、稼働率は目標値には達成することはできませんでしたが、空室を出すことなく経営できたことは入居者のベッドコントロールが順調におこなえた結果だと思えます。今後は夫婦部屋の入居希望者の確保など積極的な営業活動に取組み、安定した経営に努めます。

<年間行事実績>

	行事報告
4月	6日 誕生会 16日 誕生会
5月	21日 誕生会
6月	6日 食事フェア (おにぎり) らっきょう漬け 18日 誕生会 21日 食事フェア (冷やし中華)
7月	6日 食事フェア (串カツ) 16日 誕生会
8月	20日 夏祭り
9月	17日 敬老会・誕生会
10月	13日 食事フェア (煮込みうどん) 22日 誕生会
11月	8日 食事フェア (おでん) 9日 食事フェア (串カツ)
12月	10日 誕生会 19日 忘年会 24日 クリスマス会
1月	11日 新年会 30日 食事フェア (おでん)
2月	10日 食事フェア (ほか弁) 18日 誕生会 28日 食事フェア (巻き寿司)
3月	12日 食事フェア (ほか弁) 17日 誕生会

<研修等参加実績>

	研修・会議の名称
4月	
5月	5 類以降誤の対応研修
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	

11月	
12月	
1月	認知症介護実践研修会
2月	高齢者虐待防止研修 ケアハウス事例発表、意見交換会
3月	

<職員採用・退職・異動等>

- なし

## 介護職員等特定処遇改善加算の取得状況

事業所名	加算の区分	加算算定対象月
倉敷シルバーセンター	加算 I	令和元年 月～
シルバーデイサービスセンター	加算 I	令和元年 月～
倉敷シルバーナーシングホーム（従来型）	加算 I	令和元年 月～
倉敷シルバーナーシングホーム（ユニット型）	加算 I	令和元年 月～
通所リハビリテーション	加算 I	令和元年 月～
岡山シルバーセンター	加算 I	令和元年 月～
岡山シルバーデイサービスセンター	加算 I	令和元年 月～

## 賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

### ○資質の向上に関する取組

- ・介護福祉士等の資格取得を目指す職員に対し、勤務の調整や休暇取得の支援を行う
- ・新人職員研修、初任者研修、中堅職員研修等の外部研修の受講支援や、外部講師等を招いて定期的な内部研修を行う

### ○労働環境・処遇の改善に関する取組

- ・新人介護職員の早期離職防止のためのエルダー・メンター（新人指導担当者）制度の導入
- ・雇用管理改善のための管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実を図る
- ・ICTの活用 ほのぼのNEXTの導入により、申し送り事項の共有や記録類の業務省力化を図る
- ・メンタルヘルスの活用 岡山EAPカウンセリングルームと契約し、経験豊富な臨床心理士に電話やメールで相談が可能

### ○その他の取組

- ・介護サービス情報公表制度の活用による経営・人材育成理念の見える化
- ・非正規職員から正規職員への転換 職種ごとに指定する勤務シフトが可能な職員は6か月間の契約社員の後、正規職員へ転換